

〈資料〉

年表にみる米国南加州における日本人の動向：1890～1918年

山 本 剛 郎

はじめに

19世紀末、アメリカ合衆国に渡りはじめた日本人が作りあげたコミュニティの構造は、基本的には、コミュニティの構成員たる日本(系)人の行動の指針となる規範意識と、日本(系)人コミュニティの形成・発展のための条件や活動、すなわち生活状況の2つの構成要素から成ると考えられる。

規範意識とはコミュニティ成員の配置を規制したり、コミュニティ成員のホスト社会とのかかわりに関する意識のことである。

他方、生活状況とは個々の構成員の要求充足を通してコミュニティ生活を支える生活基盤のことで、具体的には、要求充足の行為主体としての成員、要求充足の手段としての装置、および成員の生活行動がパターン化された行動体系の3領域から成ると考える。

このようにアメリカ合衆国における日本人コミュニティの構造は、基本的には上の2要素の緊張関係としてとらえられると考える。もっともこれらの要素は全体社会(ホスト社会および日本社会)に代表される外部環境に強く影響されることはいうまでもない。以上を図示すると図1のようになる。

以下は、この枠組に沿って分析を進める際に必要な、日本(系)人コミュニティの形成・発展過程に関する資料である。これは南加州の日本(系)人の動きを時系列的に年表風にまとめあげたものである。

主に依拠した文献は「南加州日本人史」で、一部「在米日本人史」、「米国日系人百年史」を活用した。ここでいう南加州とはロサンゼルス(以下の年表では時に羅府、時にLAと表記してある)

を中心とするカリフォルニア州の南部を指し、ロサンゼルス郡、オレンジ郡、サンデーゴ郡、インペリアル郡、リバサイド郡、サンパナデノ郡、ベンチュラ郡、サンタバーバラ郡、サンルイスオビスポ郡等を包含している。

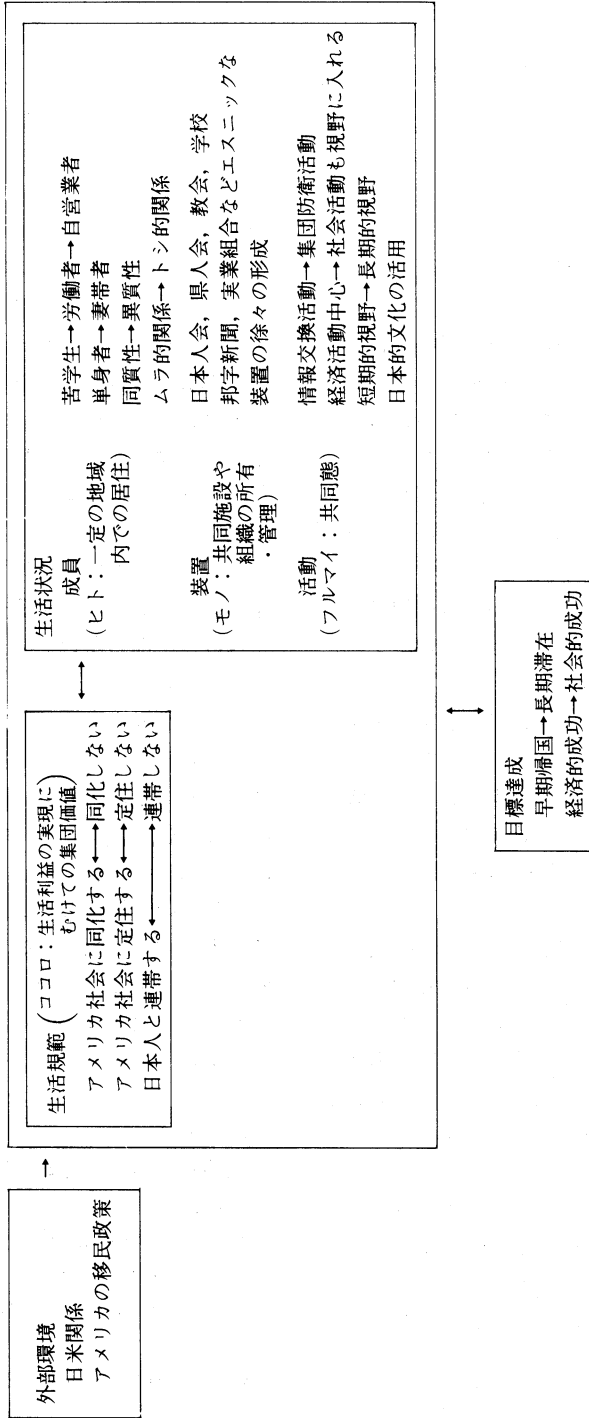
とりあげた時期は、日本人がカリフォルニアの南部に入植しはじめた1890年代の後半を出発点とし、1918年でうち切っている。南加州日本人史が同年で終わっているからである。本来ならばもう10年ほど、たとえば排日移民法が制定された(1924年)後の状況をも加えるべきである。これについては後日に期したい。

最後に記述の方法に関していえば、これは日本人の活動を経済生活と社会生活に二分し、前者については職業(自営、雇用)、後者については団体・組織、宗教、教育・出版、人物往来、排日等の領域に区分した。多領域にまたがる活動が多々あり、以下の年表は一応の目安にすぎない。時期によりこの分類でことが足りる場合と、この分類では大きすぎ、意味をなしにくい場合とがある。要はこれをもとに分析の用途に合せて事例を拾い出すことが出来ればと考え、あえて大分類のままにした。

〔参考文献〕

- 篠原武夫・土田英雄編「地域社会と家族」培風館、1981年。
 南加日系人商業会議所編「南加州日本人史」南加日系人商業会議所、1956年。
 在米日本人会編「在米日本人史」在米日本人会、1940年。
 加藤新一編「米国日系人百年史」新日米新聞社、1961年。

図1 コミュニティ構造の分析枠組



年次	労働(雇用)	労働(自営)	組織	宗教	教育	その他
1890 (M. 23)		<ul style="list-style-type: none"> ○1890年以前には水夫あがりやと書生達で日本人の大半を占む。しかも、その多くは桑港に滞在。書生達は宗教派と非宗教派に大別。 ○1890年以後、各種労働者が来羅。書生あがりがかれらを幹旋。 ○1884年、LAの日本人人口24～5名。その多くは家内労働。 1889年、LAの日本人人口40名以下。 		<p>白人篤志家の援助の下、第4街にミッションホームがつくられた。これは在留同胞キリスト教徒の集会所として利用さる。シンブソン教会堂にて花祭がおこなわれる。</p>	<p>南加医科大学を卒業する者もあるも直ちに帰国。</p>	<p>桑港より来たる若醜館を開かんとするも、これを放逐する運動が展開さる。</p>
1891 (M. 24)	<p>10. オレンジ摘採のため14～5名がフレズノよりリババサイドに來。以降フレズノ—リババサイドの往来多し。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5. 書生あがりやの者、竹細工店開く。 6. LAにて洋食店開かる。やがてこの一角に小東京が形成さる。 				
1892 (M. 25)		<ul style="list-style-type: none"> 2. 埼玉県人LAで植木業を営む。斯業の祖。 4. 新潟県人レットランドで20エーカーの土地を購入。南加最初土地所有者。オレンジを植えつける。 5. 大阪人LAに日本美術雑貨店を開く。邦人斯業の祖。 9. サンバナデノに洋食店開かる。 				
1893 (M. 26)		<ul style="list-style-type: none"> 5. 長崎県人、日本流めしやを開始。 6. 花卉類の野外栽培営まれる。 10. LA市内に煙草小売店営まる。 		<p>11. 天長節通拜式挙行。80余名参加。南加における最初の奉祝会。</p>		<p>7. エス・ビー鉄道にて犠死せる者のため邦人贖金して墓地を建てる。</p>
1894 (M. 27)		<ul style="list-style-type: none"> 2. 九州人、100ドルの資本で洋食店を開く。10仙ミール店。これがキッカケで日白人同業者に10仙ミール店続出。 5. 岡山県人、撞球場を開く。邦人経営の祖。 		<p>11. 天長節通拜式に250名來。</p>		<p>8. 日清戦争の軍資金として800ドルを234名が献金。</p>

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	組 織	宗 教	教 育	そ の 他
1894 (M. 27) 続		9. 広島県人、バサティナに洋食店を開く。同市での邦人の祖。 9. 島根県人、LAに9エーカーを借地。養豚業に従事。斯業の祖。				
1895 (M. 28)		4~6. リバサイド、レットランドに洋食店相ついで開業さる。 8. 羅府白人洋食店業者、日本人の斯業進出に対し排斥策をねる。 10. 菊花、花市場で好評。 11. 熊本県人、LAでちんつき業を始む。斯業の祖。				
1896 (M. 29)		7. 新潟県人 北メイン街に日本食料雜貨店を開く。南加での祖。同地域の十数軒の邦人レストランも相当に繁昌。米人同業者から苦情が出、日本人排斥の声が出る。		6. LA ブロードウェイと第9街の間に日本人美以教会創設さる。M. C. ハリス監督、中村徳太郎牧師。		3. 金子真成 サンバナナデノで第2帰化証を得て米国市民となる。加州日本人の最初。

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	団 体 (組織)	宗 教	教 育・出版	排 斥	人物往来、その他
1897 (M. 30)	1. 南加州アリゾナ方面の鉄道工事に多くの労働者、築港より入りこむ。		5. 日本人の中核機関たるべく団体を設立する動きあるも実らず。これに先立ち社交・相互扶助を目的とする有終倶楽部設立。 8. 同胞の中正機関たるべく羅府日本人会を組織。支持者少なく有名無実。				人物往来、その他 ○在留同胞約400名。
1898 (M. 31)	この年、多くの日本人労働者が鉄道の敷設工事に使役される。	3. 愛知県人 LA で旅館業をはじめ (サンタフェ鉄道会社に工夫として雇用された労働者用)					
1899 (M. 32)	2. 山中光五郎 (オレゴン州立大出身) が Oxnard の製糖会社の依頼によりテレンサイ耕作のため労働者を同地に多数送る。 6. 倉永照三郎、エスビー鉄道会社と特約し、労働者を多数同社	5. 鹿児島県人、運送業を開始 (租) 8. 熊本県人、靴工場を開く (租) 11. 広島県人、理髪店を開く (租) ○羅府亜細亜商會、会員組織により開店。これは、大和商会と	3. 羅府日本人会設立。(目的：在留日本人の権利を守り、福祉を増進し、会員相互の親睦を旨とし、向上発展をはかる) 4. 鳥取県人、菊地武治の下に日本人青年会組織。(目的：相互扶		2. 月刊誌「新日本」刊。南加における出版物の嚆矢。		

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	団体 (組織)	宗教	教育・出版	排斥	人物往来,その他
1899 (M. 32) 続	に供給。 ○橋本大五郎、西村龍雲、阪本勲らも多くの労働者を請負う。	もに代表的商會であった。	助、会員の労働上の便宜) これには有終俱樂部、羅府日本人会に對抗した団体。				
1900 (M. 33)	2. サンタマリア平原のガダルーピンに砂糖大根の労働者として多くの者が入りこむ。 4. 日本人青年会内に勤業社が組織され、土地家屋、労働の斡旋業が開始される。 6. 労働口周旋所開業。(この種の合法的営業の祖)	6. 日本食料雑貨店(Oxnard)開。〃 (リバーサイド)開。 11. 熊本県人、トロピコにて10エーカーを租借しイチゴ栽培に従事(南加でのイチゴ耕作の祖)。	○桑港で暴死事件のため邦人は窮地に陥り、このため邦人団体の急設が痛感さる。桑港有志来羅し、日本人協議会なるものを組織することを相談。 4. 皇太子ご成婚に際し、桑港日本人会が中心となって加州在留邦人は自動車を献納。			5. 「桑港エキギザミナー」の記事に端を発し、日本人排斥の会がもたれる。	
1901 (M. 34)	11. リババサイド市に大和商會設立さる。 (和洋食料品雑貨の販売とミカソン園への労働者の供給を業務とする)。	1. 千葉県人、和歌山県人らが小規模の漁業に従事。魚を羅府魚市場に出す。(南加での斯業の祖)。 2. ロングビーチにて花卉栽培がおこなわれる。 5. 福岡県人、ベンチュラ郡サンタポーラにてレモン園の日本人監督となる。当地では平時150人、繁忙時270人以上の日本人労働者を必要とした。 6. サンタ・アナ平原のスメルザで和歌山県人・広島県人がゼロリの耕作に従事(斯業の祖)。 7. 千葉・和歌山県人、ウオクマンスにて320エーカーを現金借出し、キャベツを耕作(大規模耕作の先鋒)。 7. 米国における最初の公認歯科医誕生。 11. 羅府における最初の公認医誕生。					
1902 (M. 35)	4. 橋本大五郎(和歌山県人)、ソートレーカーサンピドロ間の鉄道工事に邦人労働者を多数供給。 3. 田和亥之太、駒井豊作、リババサイドにキャンタローア耕作の	1. 岡山県人、LAにて18エーカーの地に野菜耕作に従事(斯業の祖)。 2. 和歌山県人、植木鉢植の行商をはじめめる。好成績をあげ、これにならうもの多し。		4. 日本キリスト教徒の一部がLAに独立青年会を設ける。幹事：守山純一。のち	3. ハーウッド、LAに英和夜学校を設ける。これは後に組合教会となる。 5. 「新世界新聞」		

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	団体 (組織)	宗教	教育・出版	排斥	人物往来,その他
1902 (M.35) 続	<p>人夫を供給。</p> <p>10. 和歌山県人, サンバナデノのリアルトに労働者を供給 (オレングス橋採)。</p> <p>12. 福岡県人, 日本人労働者をひきつれてホイテヤのレモン畑で就労 (初)。</p>	<p>3. 鹿児島県人, LAで果物店開業 (祖)。</p> <p>4. 熊本県人, LAに日本書籍店 (佐藤書店)を開業 (祖)。</p> <p>4. 5人の共同出資で合資会社亜細亜商会, LAに設立さる (食料品店)。</p> <p>6. 広島県人, LAに日本煎餅を製造販売 (祖)。</p> <p>7. 長崎県人, LAに洋服店を開く (祖)。</p> <p>8. 福岡県人, LAに西洋湯屋を開業 (祖)。</p> <p>8. 山梨県人, LAに日本美術店 (大和商会)を開く。</p> <p>9. 熊本県人, LAに日本書籍販売店 (文林堂)を開く。</p> <p>10. 熊本県人, モネタにてイナゴ耕作に従事 (祖)。</p> <p>11. 加州公認医, 桑港より LAに來。開業。</p> <p>12. 和歌山県人, オレンジ郡にて100エーカーを賃借しジュガービーツの耕作に従事 (南加の最初)。</p>		<p>の日本長老教会の母体。</p> <p>11. 福沢謙一牧師, オレンジ郡ウイランターズバレーに伝道館を新設。</p>	<p>(本社 桑港) が LAに支社をおく。</p> <p>10. 「日米新聞」 LAに支社をおく。</p>		
1903 (M.36)	<p>2. オクスナードの製糖会社の代理者たる西部農事会社と, 日墨人労働者との争いが庄する。</p> <p>3. 上の争い銃火の闘争と化する。最終的に労働者は職にもどる。</p> <p>6. 和歌山県人, ロサンゼルス電鉄会社の線路修繕工事に労働者を斡旋。さらに太平洋電鉄会社はその盛時には2,000名の日本人を雇用。</p> <p>11. 愛媛県人, 数十人の労働者とサンタアナの農園に就労。以降この付近に日本人急増。</p>	<p>1. 和歌山県人, リバーサイドドライブ付近にて日本種野菜を栽培 (日本種野菜耕作の祖)。</p> <p>2. 金井商店主, LAに家屋つき土地2ロットを買う。市内の宅地購入の祖。</p> <p>5. 熊本県人, 横浜洗濯所開業。</p> <p>6. 茨城県人, 加州公認の産婆となる。</p> <p>8. 山梨県人, アウィンデールにミカン畑10エーカーを購入。南加で最初の果樹園所有者。</p> <p>9. 長野県人, サンタババーバラで日本美術店を開く (同市での祖)。</p>		<p>10. オクスナード在住のキリスト教徒が集まって美以派基督教青年会を設立。会長: 馬場八三郎。</p>	<p>2. 羅府新報創刊, ミネオグラフィ刷, 週2回。</p> <p>○新世界新聞の羅府支社設置さる。</p> <p>○日米新聞も羅府に支社を設ける。</p>		<p>3. 南加演芸団組織さる。忠臣蔵上演。</p> <p>○在羅府人口 1,300名。</p>

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	団体 (組織)	宗教	教育・出版	排斥	人物往来, その他
1903 (M. 36) 続	12. 佐賀県人, リバサイドにて30エーカーを租借し, 養鶏, 養豚をはじめめる (この種事業の大規模経営の率先者)。	9. 中野喜代太郎, LA に土地・家屋を500ドルで買う。旅館・商店を開業。 10. 岐阜県人, 時計販売・修理業を行う (日本人唯一の商売)。 11. 岡山県人, ラグナにて蔬菜耕作開始 (租) 11. 岐阜県人, 日本菓子製造販売 (租)。					

年次	労働 (雇用)	労働 (自営)	団体 (組織)	宗教	教育・出版	排斥	人物往来, その他
1904 (M. 37)	1. 広島県人, フルーツランドにて養豚・鶏を営み, 好成績をあげる。以降, この地に入りこむもの多し。 4. 宮崎県人, 和洋サイン看板製作を専業とする。 5. 福岡県人ロングビーチで, 大河原某バササデナ市で, 夫々雇人周旋業を開く (日本人の増加とともに斯業の需要多し)。 10. 和歌山県人, サンタフェ鉄道会社に労働者を供給 (盛期には100名以上)。 ○1904～1905年にかけてコチュウ平原, インベリアル平原への人植がすすむ。砂漠地帯を開拓した日本人の功績は大きい。	2. 和歌山県人, サンビドロ港でカンゾメ会社を始める。また, 漁船に発動機を備えこむ (租)。 6. LA に加州農産商會設立。野菜・果物の委託販売開始 (新業の租)。 7. 島田雪湖, 東湖公園内に日本流の茶亭を建て, 緑茶とセンベイを売る。 7. 熊本県人, インベリアル平原のプロローレーにて10エーカーを借地, 次いで広島県人, 同地に40エーカーを購入。前者は野菜耕作, 後者は養豚に従事 (この地への日本人の最初)。 8. 山梨県人, LA にてスチーム洗濯所を開く (租)。 8. 福岡県人, LA にて切花小売店を開く (租)。 9. リバサイドの大和商会, 資本金2万ドルの株式会社を成長, 加州政府の許可を得る。 12. コチュウ平原にてキョウタンロープ, すいか耕作のため, 日本人多く入りこむ。やがて資本金1万ドルのコチュウ農産商會社を設立。	2. 桑港領事, LA 在留民に報国義會設立を促す (有志100余名)。次項を可決。 ○南加州在留邦人は帝国臣民の責務を尽すため南加州報国会を設立す ○本会の範囲を南加7郡とす ○役員を数名おく ○義捐金を募り加兵部に献納 ○在留民大会を開き報国会を確立させる 2. 南加報国会設立に関する在留民大会を開き, 同會を設立することを決定。来會者100名。 2. リバサイド在留日本人, 同市美以教会に集合し, 報国会の組織を決定。 3. 南加鹿兒島県人会設立 (会員50名)。 3. LA 居留の婦人, 羅府日本婦人会を組織 (日露開戦に刺激され婦人相互の親睦, 日本婦人の美德の発揮, 日本臣民としての責任遂行のため)。 4. 有終俱樂部解散。	8. M.C. ハリス夫妻は美以教会派太平洋沿岸日本人部総理から極東丘道部に転任。LA 日本人有志は一席をもうけ, 感謝状を贈る。 9. 桑港仏教会開教師, 羅府仏教会をおこす。 10. リバサイド日本人美以教会と同地在留同胞との争い (日本政府の召集令状を受けて帰国する者に反対し, 狂的行為だと批判したことにより発せられた)。 11. 羅府日本人の天長節奉祝会への集會者150名。	2. 羅府新聞日刊となる。 2. 雑誌「南加旬報」創刊。メモオグラフィ。 5. 森久保善太郎 (スタンフォード大出身), ヘラルド新聞にて羅府タイムスの弊論に反論。 8. 在留同胞, 羅府新報を告訴。検事局はこれを却下。 9. 「大鉄新聞」創刊。岡田漢水著「米国事情」。同号によれば, LA 邦人数2,759名, うち女子142, 小児49, 住宅所有者3名。	1. 柔道家, 白人とレスリングをすする。同胞応援。 2. 片山潜, 来羅。社会主義の立場から労働者一資本家の関係を論じ, ストの必要性を説く。 2. 日露開戦の報道あり。同胞緊張, 帰国する者あり。 3. 邦人労働者, 白人労働者に強制的に退去せしめられる (キューカモング・パッキング・ハウスおよびサンバナデノ郡ハイランドのアメリカンシトラ会社)。 4. 日米銀行 (米国での日本人金融業の祖), LA に支店設置。 4. 佐藤良吾夫妻, 平山源太郎, 帰化手続し, 第一帰化証を獲得。 12. 白人労働者, グレンドウの同胞に退去を迫る。日本人自発的に退去。 12. 桑港報国義會への献金総額11万6,149.61ドル。 12. 加州在留邦人, 伏見宮殿下に名馬を献上。南加報国会, 同殿下に祝電。	

年次	労働（雇用）	労働（自営）	団体（組織）	宗教	教育・出版	排日、その他																																										
1905 (M. 38)	<p>4. 1903年以来、ボモナで日本人70余名を雇った日本人が1,500ドルを着服。有志善後策を協議。</p> <p>○1903年頃の日本人労働者の内訳</p> <table border="1"> <tr><td>果物類摘採者</td><td>200名</td></tr> <tr><td>セロリー</td><td>800名</td></tr> <tr><td>野菜</td><td>600名</td></tr> <tr><td>砂糖大根</td><td>1,000名</td></tr> <tr><td>母</td><td>600名</td></tr> <tr><td>鉄道工夫</td><td>1,500名</td></tr> </table> <p>○1905年頃の日本人による農園の経営面積</p> <table border="1"> <tr><td>砂糖大根</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>セロリー</td><td>1,849</td></tr> <tr><td>野菜類</td><td>1,280</td></tr> <tr><td>苜蓿</td><td>687</td></tr> <tr><td>メロン類</td><td>345</td></tr> <tr><td>牧草ヘイ</td><td>292</td></tr> <tr><td>牧畜家禽</td><td>134</td></tr> <tr><td>その他</td><td>44</td></tr> <tr><td>合計</td><td>7,031</td></tr> </table> <p>○日米新聞による南加人口</p> <table border="1"> <tr><td>総人口</td><td>10,016名</td></tr> <tr><td>男</td><td>9,316</td></tr> <tr><td>女</td><td>518 (未婚者12)</td></tr> <tr><td>小児</td><td>182</td></tr> <tr><td>男</td><td>99</td></tr> <tr><td>女</td><td>(うちアメリカ生れ72)</td></tr> </table>	果物類摘採者	200名	セロリー	800名	野菜	600名	砂糖大根	1,000名	母	600名	鉄道工夫	1,500名	砂糖大根	2,400	セロリー	1,849	野菜類	1,280	苜蓿	687	メロン類	345	牧草ヘイ	292	牧畜家禽	134	その他	44	合計	7,031	総人口	10,016名	男	9,316	女	518 (未婚者12)	小児	182	男	99	女	(うちアメリカ生れ72)	<p>1. 和歌山県人、東バサデナに2.5エーカーの植木園を開く。同地向方に永続的決意をもって新業に従事した最初の人。</p> <p>1. 熊本県人、サンクレメント島にて漁業に従事。カマゴコ、天プラを日本人に売り歩く。</p> <p>2. 三重・静岡県人、インベリアル平原でキャントローブ耕作に従事。同平原での甜瓜耕作の先鋒。</p> <p>2. 広島県人、LAに古物商開く(租)。</p> <p>2. 熊本県人、オクスナード漁業会社を設立し、沿岸漁業を開始。</p> <p>3. 長崎県人、LAで自転車の修理販売をはじめ。</p> <p>5. トロピコでの草苜蓿培順調に進み、80余組の独立耕作者が入植。日本人村出現。</p> <p>5. LAに日進印刷所なる専門印刷工場設立さる。</p> <p>5. 福岡県人、ニューマーケットで野菜耕作に従事。やがてこの地に多数の日本人来。イチゴ、野菜、花を栽培。</p> <p>6. LAに男子装飾用品店開業(租)。</p> <p>9. 佐賀県人、LAに乾燥めん類の製造所を開く(南加製めん所前身)。</p> <p>10. LAに敷島射場開く(租)。</p> <p>10. 岡山県人、LAに味噌製造所を開く(租)。</p> <p>11. 和歌山県人、LAに和洋菜種店を開く(租)。</p>	<p>2. LAに南加日本人野球倶楽部。</p> <p>4. 山梨県人、甲州人会を組織。</p> <p>4. 桑港日本人協議会から、LAを中心とする日本人協議会設立の動きをうける。</p> <p>4. 上記協議会設立委員選出。日本人会解消。</p> <p>5. 第1回在米日本人連合協議会代表者会開催。</p> <p>5～6. 日本海海戦の祝勝会を兼ねてピクニック、飲食のおこなわれる。</p> <p>6. 羅府日本人協議会、臨時総会を開く。会員170名。会費は1カ月、25、50、70セントの3種。</p> <p>7～8. 日本人殺人事件2件発生。LA日本人協議会は矯風運動の一端としてLA日本人旅館組合に注意を喚起。</p> <p>8. 羅府日本婦人達は軍人遺族救助委員会を開き純益142.55ドルを愛国婦人会に贈る。</p> <p>9. 日露講和条約に不満の者、大会を開く。千有余名集。決議文を日本の政党、貴衆両院、新聞社に送る。</p> <p>10. LA日本人商業家、実業組合を設立。</p> <p>11. 天長節、各地で盛大に祝う。</p> <p>12. LA在留の和歌山県田原村出身者、在米田原人会を組織(会員99名)。</p>	<p>2. ラフ日本人美以教会、日本人キリスト教会、ラフ仏教協会が発起して日露戦役戦死者の追悼会なされる。併せて遺族援助のため觸金す。</p> <p>9. LAにて前円覚寺管長の講演を聞く。聴衆千有餘、百余名は白人。</p> <p>10. 羅府在留日本人女子キリスト教徒により婦人矯風会設立さる。</p> <p>10. 日本キリスト教同盟会小崎弘道会長、白人組合教会、日本人ベツレヘム教会で演説。商業的道德を説く。</p> <p>11. LA日本人キリスト教青年会は組織を改め、日本人長老教会となる。福次謙一牧師来。</p> <p>12. テンプル街にて南加日本人キリスト教徒同盟の発会式が行われる。</p>	<p>4. 羅府仏教会、日本語小学校を設ける。南加における日本語学園の濫觴。</p> <p>5. 「大鉄新聞」、「平民新聞」と改題。</p> <p>10. 山口県人「平民新聞」を合併し、「羅府毎日新聞」をおこす。</p> <p>○松井拙庵により「南加旬報」が、柏村桂陸によって「新大陸」が、山本博文堂によって「羅府団々珍聞」がそれぞれ出版・創刊さる。また、仏教会、キリスト教会からも機関誌が出版。</p>	<p>1. リバササイド郡コロナの労働者、白人労働者の襲撃をうけ、退去。</p> <p>1. サンバナデノ郡レッドランドでオレンジ摘採者150名以上に達し、白人労働者と衝突。ヘラルド新聞によると、サンバナデノ郡のオレンジ園主、日本人労働者を高く評価。</p> <p>2. 旅順口陥落記念祝賀会。日白人合せて5,000名参加。南加日本人社会空前の盛況。寄付金775.50ドル</p> <p>4. サンバナデノ郡アアップランドのミカン摘採労働者おそわれる。桑港領事館、州知事に保護を依頼。</p> <p>5. 早大野球部来(安部磯雄)。</p> <p>5. 桑港にてエキギミナー新聞、労働同盟が中心となって排斥日本人大会開かる(1901年5月にも非日本人大会は開かれていた)。</p> <p>7. ボモナの農園で就労中の和歌山県人狙撃さる。</p> <p>8. 和歌山県人、日本人に銃殺さる。</p> <p>12. LAの射撃場経営者、何者かに殺さる。</p>
果物類摘採者	200名																																															
セロリー	800名																																															
野菜	600名																																															
砂糖大根	1,000名																																															
母	600名																																															
鉄道工夫	1,500名																																															
砂糖大根	2,400																																															
セロリー	1,849																																															
野菜類	1,280																																															
苜蓿	687																																															
メロン類	345																																															
牧草ヘイ	292																																															
牧畜家禽	134																																															
その他	44																																															
合計	7,031																																															
総人口	10,016名																																															
男	9,316																																															
女	518 (未婚者12)																																															
小児	182																																															
男	99																																															
女	(うちアメリカ生れ72)																																															

年次	労働(雇用)	労働(自営)	団体(組織)	宗教	教育・出版	排日、その他
1906 (M. 39)	<p>7. 熊本県人、日本人労働者400名を役使してウイリソン山道を拓く(南加における日本人の請負工事としては最大)。 ○1906～1907年頃からオレンジ郡スメルザ地方に邦人多数入植。セロリを栽培。 ○1906～1907年にかけて、羅府市内に5つの日本人宗教団体、10の県人会、その他商業会議所、湯屋組合、旅館組合、料理組合、金門・日米両銀行の支店さらには新事業として精米専門のエー・ビー・シー商会等が誕生し、日本人コミュニティが着実に形成されていく。</p>	<p>1. 山梨県人、ローランドに入り草蓐を栽培(邦人入植の祖)。 2. サンファン平原のダンデナーに3,000エーカーの土地を日本人に分売し、日本村を建設しようとする会社が設立される(日本村開拓会社、資本金5万ドル出する)。 1エーカー95ドルで売られる。1エーカーも地味、水利に問題あり失敗。 2. 熊本県人、サンルイスオビスポにて種子物耕作に従事(祖)。 2. 福岡県人、LAに大弓場を設ける(祖)。 5. エー・ビー・シー商会を創設する(米穀・食料品商)。 6. 羅府日本人医会設立。 7. 寿司店、写真館、グロセリーがLAで開かる。 8. 土地興業株式会社設立さる。 9. 三星社なる印刷所設立さる。 10. 愛知県人、バサデナ市にて洗濯所をおこす(同市での祖)。 11. 三重県人、LAにて肉・魚の販売を始む。 11. LAのウエスタアダムスで島根県人、農作で好成績をあげる。以来邦人多数来。 12. 岡山県人、醤油の製造を試みるも失敗。</p>	<p>1. 南加滋賀県人会、山口県人会結成。 2. 羅府領事館設置の請願書を外務省に提出(第2回連合協議会代議員会)で。 3. 南加演芸クラブ設立(歌舞伎を行う)。 3. 南加野球倶楽部を中心に野球隊を組織し、諸州に出かける。 4. 桑港大地震。羅府日本人協議会、臨時協議会を開き、桑港日本人協議会に慰問状を送る。また罹災民救済資金募集を行う。 8. LAに南加音楽クラブ設立。 11. 天長節、5,000余名来。</p>	<p>2. 日本人長老教会、婦人教育に着手。毎週月、水、金、PM 2～4時。多課目教授。 8. 羅府日本人美以教会、チョーデチャ街に家屋・土地をを買う(5,750ドル)。</p>	<p>1. 「南加旬報」改題し、「南加新報」となる。月刊誌。 8. 河原愛嬌「在米宝典」を著わす。 9. 「桑港新聞」創刊。羅府に支社設置さる。 9. 羅府ベッソレヘム教会の付属事業として日本語小学校設置さる。 10. 桑港にて日本人学童隔離問題発生。</p>	<p>1. ポモナの日本人殺害者に無罪。日本人協議会は日本人の権利を守るため弁護士をたてるも空し。 1. 小規模な博覧会、LA内ベニスで開かれ、開場式に打上げ花火、日本演芸を行う。観客数万、日本人2,000余。 3. 米国旗侮辱事件。 3. 金門銀行(本店横浜市、資本金20万)羅府に支店を設置。 4～5. 桑港大地震以来、来羅する者15,000人、うち日本人1,200。 9. LA内ベニスでカーニバルが催され、打上げ花火、チョウウチ銀行行列がなされる。参加者3万以上、日本人3,000～3,500名。 9. 日本人、一流キャンデー店にて差別さる。 11. キャンデー屋にて差別をうける。 11. 桑港日本銀行、羅府に支店を設置。</p>
1907 (M. 40)	<p>○本年に入りて桑港での日本人排斥は甚し。 ○この年は不況。 →(教育・出版・往来欄より)石井局長に提出した報告書「南加地方の邦人農業の主たるものはイチゴ、セロリ、砂糖大根。最近3ヶ年の発展はおどろくべきで、白人地主はイチゴ栽培は日本人の手によらざるを得ない</p>	<p>2. 岡山県人、LAにて茶の湯、活花の教授を始む(新業の祖)。 3. 三星社、南加印刷所に改組。 5. 再細亜商會羅府支店設置(衣服、装飾品、呉服を商う)。 6. LAにてミソ製造はじめる。 8. 日本人とシナ人たちが青物市場を建設する相談会を開く。 8. LAに蓄音機店開かる。</p>	<p>1. 南加東京人会結成。相互扶助と共同貯蓄を目的とする。会員36名。 1. 連合日本人協議会第3回代議員会は大統領、スタンフォード大総長、美以教会監督に感謝状を送る。 3. 南加千葉県人会結成。謠曲の結成。 4. 在米日本人協議会・シヤトル</p>	<p>2. 羅府仏教会にて在留同胞大会を開き、次の電文を駐米大使、外務省、貴衆両院、帝國通信社に送る。 「移民制限を学童問題と交換するは在米同胞の産業をうぼうもの」</p>	<p>1. 雑誌「新大陸」創刊。 3. 狩野ワコ子、羅府洋裁女学校を卒業、日本人最初。 6. 南加新報社より羅府市街地区と日本人使用の特別電話帳発行人の電話帳の最初。</p>	<p>1. 日本人学童隔離、日本人排斥問題に關連し、加州いたるところに日米戦争説唱道。 2. 加州外人土地所有權制限法案が州議會(下院)通過。これは加州土地法の発端。 2. 羅府商業會議所(白人)、日本人学童隔離に</p>

年次	労働(雇用)	労働(自営)	団体(組織)	宗 教	教育・出版・往来	排日、その他	
1907 (M.40) 続	<p>と考えている。トロピコ、モネタ地方をはじめ、1904年以来、日本人の手になるイチゴ栽培面積は600エーカーである。また、スメルザ、ベニス地方のセロリも白、支人を圧倒し、昨年の耕作面積は3,000エーカーである。他方、帝国平原でのメロン耕作も増加の一途で、その面積は千数エーカーにもなる。</p>	<p>9. LAでサンライズソーダ水製造所開店(斯業の祖)。 10. 三重県人、塵埃取業を開始(祖)。 11. LAにて活動写真館開館。 ⇒(団体(組織)欄より) 青木大使は「在留民は日本人たるの品位を保つと同時に米國風民としての義務に忠実なれば、排斥運動も自然に止むだろう」とのべたとはいわれている。 ⇒(教育・出版・往来欄より) は日本人が将来米国内に1つの国をつくる危惧からだ」と。</p>	<p>日本人会からの沿岸日本人の実情についての報告に対し、青木駐米大使は「日本人として他國に帰化を望むのは不忠の民、として来ることは國民的恥辱である」旨を述べたと伝えられる。 6. 南加長野県人会結成(1909年貯金部を設ける)。 7. 羅府日本人協議会、定期役員会にて同胞の風紀矯正について次の3項目を決議。 ①シナトバクをつつしむ。 ②日本料理屋内での規律矯正。 ③夫婦間の家庭紛擾をなくす。 10. 在留同胞、羅府領事館請願書を外務省に送付。 10. 羅府旅館組合結成(3度目)。 10. ニューマーケット日本人会結成。 11. LA近郊の農業家で生産物を市場に出荷している者が集まって南加農業組合を組織。 11. LAのメイン街・第1街にユダヤ人商店多し。英語を知らぬ日本人でゴマかされる者多し。日本人協議会はこの苦情に接し「日本人は日本人の店舗にて買物をすべし」と。 11. 天長節、参拝者多数。</p>	<p>なお同趣旨のものは南加和歌山県人会、甲州人会、南加岡山県人会、トロピコ、リパサウイド同胞よりも出される。 5. 1900年創立の英和字校(パタソン創立)、改めて教会組織となる。羅府日本人聖公会と称す。前川圭次郎師。 7. H. H. ガイ博士、日本人キリスト教会を創設。 9. チョーチャ街に新築の日本人美以教会会堂献堂式挙行。 11. ハーワードの主宰する英和学校、教会組織とし、白人第一組合教会の下日本人組合教会と称す(翌年、古屋弥次郎師来)。</p>	<p>7. 兵庫県選出代議士森本駿、政友会を代表して来羅。「祖国に送金することを止め、永住の基礎を築け」と。 8. 外務省石井局長来羅。(労働(雇用)欄に続く)。 9. 羅府仏教会、小児保育所をポイド街に設け、合せて小学校も同所に移す。 12. 羅府日本人協議会の発表による小学生数。 羅府仏教会小学校15名 羅府ベツレレーム25名 12. 柏村桂谷著「羅府土産」。 12. 桑港小池領事来羅。 「有力白人から聞いたところでは、北加での排斥は日本人が不良なる労働者だから。南加での排斥(労働(自営)に続く)⇒</p>	<p>5. 4名の者、羅府郡役所に帰化を申請、受理され第一帰化証を得る。 6. 連邦政府の移民局長上記の件につき、日本人に帰化権はないと通告し、上の帰化証は無効となる。 6. 日本人宛の手紙に不明瞭なるもの多きため、羅府郵便局本局は南加大学生を雇い、整理にあたらせる。 7. 日本人がLAで白人男女をホールドアップ。南加におけるこの種犯罪の最初。 10. リパサウイド市に同地方のミカエン園主が集まり、日本人以外の労働者を求め得るか否かを協議(同地方の労働者600名のうち日本人は約500名)。 12. LAの法廷で最初の日本人離婚訴訟生ず。</p>	<p>排日、その他 反対し、大統領に決議文を伝付。 5. 日本人排斥に直面し、メキシコに出發するものあり。 5. 4名の者、羅府郡役所に帰化を申請、受理され第一帰化証を得る。 6. 連邦政府の移民局長上記の件につき、日本人に帰化権はないと通告し、上の帰化証は無効となる。 6. 日本人宛の手紙に不明瞭なるもの多きため、羅府郵便局本局は南加大学生を雇い、整理にあたらせる。 7. 日本人がLAで白人男女をホールドアップ。南加におけるこの種犯罪の最初。 10. リパサウイド市に同地方のミカエン園主が集まり、日本人以外の労働者を求め得るか否かを協議(同地方の労働者600名のうち日本人は約500名)。 12. LAの法廷で最初の日本人離婚訴訟生ず。</p>

年次	労働（雇用）	労働（自営）	団体（組織）	宗教	教育・出版・往来	排日、その他
1908 (M. 41)	<p>4. 金門銀行、桑港日本銀行と合併。金門銀行と改組。 ○桑港総領事小池は、排日問題や同胞指導の重責を果すべく、日本人連合協議会の改組を提言。證明権付与斡旋をする。 ○1908年頃、島新太郎、花井の卸商なきに着目し、LAに花井の卸店を開業。その後南加花商組合が結成される（1914年）。</p>	<p>1. LAに農産商會でできる。これは邦人農家の出高農産物の仲介取引業者。 4. 福岡県人、オレンジ郡ガーデングローブでゴマ耕作に從事（乾燥ゴマ事業のさきがけ）。 5. 岡山県人、LAで獣医を開業。 5. 南加のいちご過剰につきオレゴン州に輸出。好利益をあげる。 5. 岩手県人、白人からカンヅメ会社を買収。 6. 静岡県人、低加州のバンタナーパンダ島で鮑魚採りのため一群の日本人漁夫を伴い現地へ。 6. 広島県人、LAでブARAMA業を開始。 6. 広島県人、LAでセンベイ製造業を開始。</p>	<p>1. 南加愛媛県人会結成。 1. 南加熊本県人会結成。 2. 浪花節の興行なさる。文士劇団結成。 4. 南加宮城県人会結成。 4. 羅府日本人会、大西洋艦隊歓迎につき注意書を配布。 5. 羅府日本人倶楽部結成。 5. 羅府日本人西洋湯組合から日米混浴風呂を風俗擾乱のため営業停止するよう取計ってほしい旨の要望が日本人協議會に寄せられる。 5. 羅府領事館設置は経費不足で望みうす。 5. シンナ人に日本製品ポイコットの動きあり。日本人はシナトバクの自衛運動をおこす。 8. 南加福岡県人会結成。 10. 南加日本人農業組合、會合を開き、第3街青物市場より脱退し、新市場建設につき協議す。 11. 青物市場独立問題に対し有志、相談會を開く。 12. 日本人商業組合、不景氣挽回策を講ず。 ○羅府第3街市場関係者は、日加農業組合を組織。組合員数90余名。なお南加農業組合の組合員数は150名。</p>	<p>1. 羅府のキリスト教連盟は窮民救済部を設け、貧困者を助けたい趣意書を配付。日本人部も同じ行動をおこす。 2. 羅府日本人キリスト教徒、禁酒會をおこし、美以教會牧師を會長とす。 2. 日蓮研究会生れる。 9. 北米神道協會 LAに設立。米國での神道布教のはじまり。 11. 海老名彈正、南加キリスト教同盟主催の下で演説。日白人合せて1,000名来。 11. 天長節、600名来。</p>	<p>1. 法学博士高橋作衛来羅。「日米戰爭説は何ら相違なし。排日問題が労働組合から政治家の手に移ったのは不幸だ。」 3. 「南加評論」創刊。 9. 新学期の学生教員（名） ロサンゼルスハイスクール16、バサデナハイスクール4、ポリテクニクハイスクール19、バサデイナ工業2、南加大字10、小学校95（男：66、女：29） 9. 植原二等書記官来羅。 「資格のある移民の渡航は可能」「成功するには米國に同化する」。 12. 山梨県人「北米時論」創刊。</p>	<p>1. ホイチヤの白人労働者、農園を訪れ、日本人を唆せぬよう訴える。 1. アレキサンリア、レピー洋食店等、何十人も日本人をやとっている企業で日本人を解雇するところ絶出。これは白人商人組合が中心となって白人組合者救済運動をおこした結果である。 1. 昨年来の不景氣はその絶頂。 2. 米國大西洋艦隊歓迎のため、羅府日本人協議會、南加在留邦人は1,000ドルを寄付。 3. 去年5月、暴民に襲われた洋食店主に575ドルの賠償を市が決定。 6. LAタイムス、日本料理屋を攻撃。 7. 日本人街に郵便局の支局新設。 7. 日本人、オーションパークのプールにて泳水拒否する（日本人の下劣な行為による）。 10. 日本の五大商業會議所の招待による羅府商業會議所の訪問団帰國。</p>

年次	労働(雇用)	労働(自営)	組 織	宗 教	教育・出版	排 日	往来、その他
1909 (M.42)	<p>○ 1909年羅府市の農業は近きは同市の2〜3マイルから遠きは20マイルの地点にまで拡がり、耕作面積は3,000エーカー、年間の生産額は100万ドルにも達した。こうした状況の下で、ある日本人は白人、支那人と共同で第9街に新市場を作る。旧市場からのまきかえしもあり、邦人野菜業者は二派に分裂。</p> <p>新市場—南加農業組合—120〜30名、旧市場—日加農業組合—30名程度。</p>	<p>1. 避暑客相手の旅館がポートラサセルズで営業。斯業の祖。</p> <p>3. 日本流の混浴風呂は衛生上有害とみなされ営業停止。一人一浴の新式和洋折衷風呂を案出、許可を得る。</p> <p>5. 檳球場の許可がおりなかったが、日本人の抗議の未許可による。(加州日本人の先駆)。</p> <p>6. 和歌山県人、魚粉肥料の製造に着手。</p> <p>8. 貨自動車業、営業開始(南加での斯業の祖)。</p> <p>→(組織欄より)</p> <p>羅府日本人会は南加8部の各日本人会と連絡し、証明手数料の割りもどし歩合を次のように定める。</p> <p>在米日本人会 5割 羅府日本人会 3.5割 各地方日本人会 1.5割</p>	<p>1. 南加島取県人会結成。</p> <p>1. 羅府日本人商業組合、日本人街繁栄策を研究。</p> <p>から1カ月続けて広告を出す。その結果、2,000人の労働者が移動してきたといわれている。</p> <p>1. 羅府日本人協議会を羅府日本人会と改称。</p> <p>(労働(自営)欄に続く)→</p> <p>1. イタリア地震の救済費として羅府日本人会より100ドル、地方日本人会より33.75ドルを羅府商工会議所に献金。</p> <p>2. 南加沖繩県人会結成。</p> <p>2. サンデューゴ日本人会結成。</p> <p>2. 羅府婦人矯風会、公立学校在学日本人学生を招待。50名来。</p> <p>2. 白人青年会館に90名、日米懇話会を開く。90名出席。日米親善のための諸行事を催す。</p> <p>のちの羅府日米協会。</p> <p>3. 土地興業株式会社(の起工せるレンガ家屋落成)。</p> <p>4. 日米銀行羅府支店開業5周年祝賀会。来会者400名。</p> <p>4. 第9街新市場をサンピドロ街に新設。シナ人:15万株、白人:10万株、日本人:5万株。</p> <p>4. 南加福岡県人会再組織。</p> <p>4. 羅府日本人倶楽部(市内在留の日本人実業家の社交団体)創設。</p> <p>4. 羅府日米協会設立。</p> <p>5. 南加愛知県人会結成。</p> <p>5. 日本人労働力状態調査について日本人会は羅府新報、羅府毎日新聞を通して在留同胞に周知徹底。</p> <p>7. エルルス祭に日本人商業組合が中心となって花車をひく。</p>	<p>1. 齊木仙醉、神仏教会設立す。</p> <p>2. 日本人長老教会、西第10街に家屋つきロットを7,000ドルで購入。</p> <p>8. 日本人長老教会に放火あり。詳細は不明。</p> <p>9. 美以教監監督 M. C. ハリス夫人、日本にて永眠。美以教会で追悼会。</p> <p>10. 羅府仏教会内にある日蓮研究会、妙教会と改称。</p> <p>11. 天長節遙拜式。</p>	<p>1. 「労働の友」創刊。</p> <p>1. 「家内の労働者の友」出版。</p> <p>2. 加州公立学校通学中の児童数(名) LA 128 小学校 83 夜学スクール 29</p> <p>2. 「北米時論」改題され「北米日々新聞」となり、毎日曜刊。</p> <p>5. LA在住酒販売業者、北米日々新聞を名譽毀損で訴える。その後仲裁が成立。</p> <p>5. 藤井整「大統領タフト」を著わす。</p> <p>5. 遠山アグ子、LA第1街に国民小学校を設け、日本語教育を始める。南加での個人の学校経営の祖。</p> <p>6. 羅府日本人会発表によるLA市内在留の児童数 合計 135名 男 53 女 82</p> <p>11. 「南加日本人及事業」出版される。南加における個人紹介ははじまり。</p>	<p>1. 第38州会で外人土地所有禁止法案が出るも最終的には否決。</p> <p>3. 1906年以来ベンチュラ郡フィロモアのスパ—果物会社に就労していた日本人労働者、白人労働者より退去の脅しを受く。40名退去。</p> <p>5. 羅府タイムズ、日本料理店、日本倶楽部を非難・攻撃。これに対し、日本人会幹事、市内各方面に弁明書を送付。</p> <p>8. 日本商船学校練習船、サンデューゴに入港。日本人会、白人商業会議所歓迎。</p> <p>10. 日米銀行羅府支店、監督官の命により臨時に営業を停止。有志が集まって同支店の再開の必要を決議(閉鎖は在米同胞の死活問題)。</p> <p>10. 帝国軍艦出雲、サンタババール港に入港。同市白人商業会議所や在留邦人の歓迎をうける。</p> <p>11. 日米銀行羅府支店預送金者大会が開かる。500名出席。15名の代表者を選ぶ。</p> <p>11. 米國觀光日本実業団(渋沢栄一団長)来羅。日米の交歓会相ついて催される。羅府日本人会は一行のため、南加在留同胞の最新状態を小冊子にまとめ配布。</p> <p>○ 桑港日本銀行破産。</p>	

年次	労働(雇用)	労働(自営)	組織	宗教	教育・出版	排日	往来、その他						
1909 (M.42) 続			<p>8. 新設の第9街の青物市場より第3街の市場に復帰した日本人10名に対し、新市場の南加農業組合は非難。</p> <p>10. 羅府第3街の旧市場に残った野菜耕作者並びに一度第9街の市場に参加し、再び旧市場に戻ってきた人々が、日加農業組合を組織し、新市場の南加農業組合と対抗。</p> <p>10. タフト大統領に羅府日本人会より薩摩焼花瓶を贈る。</p> <p>10. 南加鹿児島県人会、再組織。</p> <p>12. LA に花園業者が集ってロサンゼルスフラワーマーケットを開く。</p> <p>12. 南加山口県人会再組織(最初 M.39)</p> <p>12. 羅府日本人会と柔港領事館との間に誤解が生じ、会長辞任(羅府日本人会からの証明書を領事館が却下したため)。</p>										
1910 (M.43)	<p>○羅府日本人会および地方日本人会正副会長等の署名で、領事館設置請願運動をおこなす(根本代議士を通じて議会に請願書を提出)。</p> <p>○新旧市場の対立は新聞社がからみドロ沼化するも時間とともに沈静化。</p>	<p>1. 島取県人、日本酒を醸造して市場に出す。</p> <p>8. 日本人時計商の元祖たる坂卓県人、弟に店を譲り帰国。郡立病院に100ドル寄付。</p> <p>8. 屋台店の営業は交通整理に差し障るとして禁止される。</p>	<p>1. 南加福井県人会結成。</p> <p>1. 南加和歌山県人会再組織(最初 M.38)</p> <p>1. 羅府日本人理髪業者組合結成。</p> <p>1. 新瀨島県人会結成。</p> <p>2. 南加山梨県人会再組織(以前の甲州人会)。</p> <p>2. 羅府日本人実業組合、羅府新報と新市場日本人との紛争を仲裁するも不成功。同胞社会の一大不祥事との判断からさらに調査を続ける。</p> <p>2. 最初の南加州連合日本人代表者会開かる。</p> <p>2. 羅府日本人会の調査による日本人数(名) 羅府 市：3,110</p>	<p>8. 美以教会、本田庸一牧師(在日本)、来羅。同胞を激励。600名。「アメリカに來たのは、米国およびあなた方自身を利用するためであろう。米国人と調和してしっかり頑張れ。日本に帰ってもしかたがない。」</p> <p>11. 天長節遙拜式 300余名。</p>	<p>1. 藤井宏基「羅府毎日新聞」を買取。</p> <p>2. 「羅府朝日新聞」創刊。</p> <p>新市場の出資によるもので新市場の機関新聞。</p> <p>3. ロサンゼルス郡学務課発表の日本人学生数(LAを除く)</p> <table border="1" data-bbox="862 1301 985 1483"> <tr> <td>男</td> <td>160名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>209</td> </tr> </table> <p>小学校在学 168 高校在学 41 全学生 64,000人の1%の1/5。</p> <p>5. 羅府新報社, 2,000</p>	男	160名	女	49	合計	209	<p>3. 亜細亞人排斥協会長は東洋人排斥を推進するため労働者組合の代表を集めて、中央労働同盟組織をつくり、排斥の決議文を通して。</p>	<p>1. 第9街の新市場と第3街の旧市場にまつわる争い絶えず。羅府新報、新市場内の南加農業組合を攻撃。羅府新報ボイコットさせる。</p> <p>2. 羅府新報と新市場日本人との論争は、益々激烈。南加農業組合、決議文を出す。</p> <p>2. 柔港領事永井松三、羅府商業会議所年會に招待され来羅(これは親善のため)。</p> <p>4. 羅府新報対南加農業組合の論争終結。</p> <p>5. エコーパークにてLA市主催のメーデー祝祭。16カ国の少女の郷土舞踊(日本少女も出演)。</p> <p>6. 味の素輸入。</p> <p>12. 帝国練習艦隊浅間、立置来羅。</p>
男	160名												
女	49												
合計	209												

年次	労働(雇用)	労働(自営)	組織	宗教	教育・出版	排日	往来,その他
1910 (M. 43) 統			<p>南加州全体：8,821。</p> <p>3. 和歌山, 広島, 宮城, 山梨, 鳥取, 鹿児島, 長野, 佐賀, 愛媛, 福岡, 福岡, 山口の12県人会代表者は連合県人会を組織することを表明(日本人会の役員を選出を公平ならしめるため)。</p> <p>3. サンタアナに日本人会結成。</p> <p>5. 羅府日本人会, 日本人実業組合主催の大ビクニック開催。来会者1,200名。</p> <p>5. 日本の愛国婦人会の南加支部設立。</p> <p>6. 羅府日本人協議会(日本人会), 榊林一組と賞状を日本政府より下賜される(桑港大震災時の救済活動の功労に対し)。</p>	<p>3. 万国キリスト教女子青年同盟委員会出席のため, 河井道子来羅。</p> <p>5. 青山学院長, 羅府キリスト教徒主催の会で講演。</p> <p>「武士道とキリスト教とは一致するところあり」</p> <p>「大和魂を磨き続けなければ必ず白人の間で成功する」</p> <p>6. 京都洛陽教会木村清松牧師(かつてのスクールボデー)路傍説教す。</p> <p>6. 羅府日本人会, 白人キリスト教教育年会館の新築費用に50ドル寄付。</p> <p>7. 羅府仏教会堂落成。入仏式行わ</p>	<p>7. 「羅府毎日」, 誹謗記事を掲載したとして日本人に訴えられる。</p> <p>9. 「羅府タイムス」, 労働ユニオンにより爆破さる。</p> <p>12. 羅府市内の児童数 総計 327名 男 167 女 160</p>		<p>各県人会, 歓迎会を催す。慰問袋1,200, 寄付金額6,300ドル。</p>
1911 (M. 44)	<p>1. 和歌山県人, カレキシンコにて棉花耕作に着手。</p> <p>2. 愛知県人, エクイテアブル生命保険会社の公認代理人となる(斯業の祖)。</p> <p>3. 静岡県人, 金魚の養殖をするも失敗。</p> <p>9. LAに五仙・十仙店開かる(祖)。</p> <p>9. 愛知県人, カツオブシを製造し日本に輸出。</p>	<p>1. 南加茨城県人会結成。</p> <p>1. 南加岐阜県人会結成。</p> <p>1. 南加各地連合日本人会代表者会開催。</p> <p>2. 羅府日本人会, 日米親善のため50ドルを日米協会に寄付。</p> <p>3. 雄弁会(政治を愛し, 弁論を趣味とする者の集団)組織さる。</p> <p>3. 本年度の羅府日本人会の新役員で辞表を出す者多し。連合県人会は同組織から役員を送ろうとする。</p> <p>3. 福岡県人会, 日曜新聞を訴える。</p> <p>4. 角力協会(好角家)創設。</p> <p>6. 白瀬中尉の南極探險を後援すべく, 演劇クラブ, 正劇団, 虫夢会, 学生クラブ等が連合して演芸会を開き, 純利益金322.55ドルを送金。</p> <p>6. 羅府日本クラブにおいて南加州最初の活花展覧会開かる。</p> <p>6. 羅府日本人会調査による人</p>	<p>3. 万国キリスト教女子青年同盟委員会出席のため, 河井道子来羅。</p> <p>5. 青山学院長, 羅府キリスト教徒主催の会で講演。</p> <p>「武士道とキリスト教とは一致するところあり」</p> <p>「大和魂を磨き続けなければ必ず白人の間で成功する」</p> <p>6. 京都洛陽教会木村清松牧師(かつてのスクールボデー)路傍説教す。</p> <p>6. 羅府日本人会, 白人キリスト教教育年会館の新築費用に50ドル寄付。</p> <p>7. 羅府仏教会堂落成。入仏式行わ</p>	<p>1. 東京二六新報社長来。</p> <p>「在米同胞十万人なきか」</p> <p>「移民禁止や排日問題に生死をかけて頑張れ。」</p> <p>4. 柏村桂谷著「北米踏査大観」上巻。</p> <p>5. 南加大学に東洋学科新設。</p> <p>5. 児童に日本語教育を施す機関を設置するのための委員を選ぶ。</p> <p>5. 日本語学園創設委員の第1回会合開かれ, 規則等がつくらる。</p> <p>5. 羅府高等学校長, ハウシュユ, 日米両国学生を深めたるため同校内に「日本語</p>	<p>3. 第39州会は日本人排斥の法案で山積。しかしことなきを得る。</p>	<p>1. 立教大学 元田作之進, 東行の途次, 来羅。 日本人の気質について説く。 500余名。</p> <p>2. 日米通商条約が満期。新条約締結(7月より)。</p> <p>6. 日米協定会。出席者100余名。南加大教授, ベツレヘム教 会牧師等による東洋人に関する演説あり。</p> <p>6. 西郷従道三男 従志来羅。日本語教育機関の設立中なるを聞き, 30ドルを寄付。</p> <p>6. 福島県選出代議士 堀江寛次来羅。 羅。</p> <p>「自重すれば他日に好果をむむ。諸君は民族発展の第一線」。</p> <p>8. イタリア人と漁業のことで紛争。</p> <p>9. 新渡戸稲造来羅。1,500名を前に演説。 「扁國を急がず, 土着の民として日本民族の膨張をこの天恵の</p>	

年次 統	労働(雇用)	労働(自営)	組織	宗教	教育・出版	排日	往来、その他
1911 (M. 44) 統			<p>口、ロサンゼルスおよびその周辺1,058戸、700人、年収5,000ドル以上の者300。 農業者：112。旅館業・洋食店・雑貨食料店：20。 7. 羅府日本人理髪業組合、白人同業組合からの要請で料金を値上げそり15→25セント、ひげそり10→15セント。 7. 先の福岡県人会と日曜新聞の争い、裁判の途中和解成立。 7. 南加日本人靴工同盟、桑港の支部から独立。 7. 洗濯業者14軒が日本人洗濯業組合をつくる。 8. 羅府日本人会、松井領事に託し、外務大臣に請願書を提出。「本土渡航禁止による窮境を打開するため、米国渡航を容易寛大にしてほしい」 8. 日本人同士の暴力・襲撃事件発生。羅府日本人会等はこれに関し、風紀の乱れを乱すべく警告文を出す。 8. 青年業友会(バンド、音楽同好の士)結成。 10. 在米日本人会臨時代表者会開催。児童教育、金融機関、土地所有権、帰化権、再渡航、妻子・近親呼寄せについて研究。 11. 日米新聞による南加在住日本人人口数(名) 羅府市内 男 6,350 男児 503 女 1,134 女児 455 計 7,484 計 958 地方 男 7,293 男児 481 女 923 女児 458 計 8,216 計 939 12. 岡山県青年会、その組織を改めて県人会とする(従来の県人会は有名無実化していた)。</p>	<p>る。回仏教会が行った葬儀数378件。 9. フレンド教会設立。 11. 東京麹町富士見町、植村正久牧師来。LAその他で説教。 11. 天長節遙拝式250名。</p>	<p>一」を設ける。 6. エキスプレス紙、日本研究の必要性を説く。 6. 羅府日本人会、ハイスクール、南加大卒業生11名を招待。1909年以來、恒例行事となる。 8. 小室篤治著「水先」出版。 9. 洋服裁縫学校LAに開かる(組)。 10. 全米日本字新聞記者第3回大会開かる。 11. 谷越勝太郎著「米国法律要覽」 12. 邦語学園、LAで開園。校長 島野好平。羅府日本人会より年額500ドルの補助を仰ぐ。また、字園を後援する目的をもって羅府婦人会が創設さる。</p>		<p>乗士に宮むべし」。 10. 代議士 島田三郎来羅。3,500名を前に演説。 「在米同胞は自重し、人格の向上をはかり、日本人排斥思想を人格淘汰によってうち破るべし」「永住が最上の策」。 10. LAで大阪人、白人を射殺。</p>

年次	労働・職業	組 織	宗 教	教育・出版	往 来	排 日	そ の 他
1912 (M. 45)	<p>1. モネタ、ガーデナ方面の母耕作者、初めて母耕作者組合をつくり、本部を9街の新市場におく。</p> <p>2. 羅府付近で生産されたレタスをシカゴに冷蔵貨車で輸送。好成績を収める。</p> <p>2. 若手県人、サンビドロ港に太平洋沿岸漁業会社を創設。鮮魚卸問屋の邦人の租。</p> <p>2. 広島県人、羅府市内でエフ・ケークララを創む。</p> <p>4. 南加日本人花園業者組合発会式が羅府市内で行われる。36名来(生産過剰をコントロールするため)。</p> <p>5. メキシコ、ソノラ郡の金鉱採掘権を得た日農産業株式会社は羅府市内に事務所を開く。社長：北沢寛太郎。</p> <p>5. 家内労働者・庭園労働者など、いわゆるデーウォーク業者、羅府市内で集会し、賃金を改正。</p> <p>1 時間：40セント、4 時間：1 ドル25セント、1 日(8 時間)：2 ドル50セント。なお電車賃等は別途請求。(非日欄参照)</p> <p>7. 松浦洋服店、得意客300余名をピクニックに招待(個人主催では空前)。</p> <p>7. 羅府市内で蹄鉄鍛冶工場が創設され、ワゴン・農具の修繕開始。南加での新業の祖。</p> <p>8. 福島県人、純日本式の木炭製造に着手。18カ月後に中止。</p> <p>9. ターミナル島にてカツオブロンを作り、3万2,500相当を日本に輸出。</p>	<p>1. 南加栃木県人会創設。役員改選。</p> <p>1. 羅府日本人会総会、役員改選。</p> <p>1. 人道会(公德に違反する罪悪の撲滅のため、人民の人道的観念を増進することを目的とする)結成される。古屋弥次郎会長。</p> <p>1. 第2回南加連合日本人代表者会開催。</p> <p>○ 毎年1月に在米日本人代表者会を開く。</p> <p>○ 毎年1回南加連合日本人会幹事会を開き、事務打合せをする。但し必要とあらば臨時の会合をもつ。</p> <p>○ 地方代表者は常置員を選定す。</p> <p>3. 朝鮮平安北道出身者、ランポーク日本人会の手を経て南加日本人会に迎妻証明書下付の手続を出願。</p> <p>5. 羅府日本人会と南加の各日本人会は在米日本人代表者会の決議に基づき以下の警告文を出す。</p> <p>①賭博者、浮浪人、その他類似の行為者および糖博者に会場を提供した者が判明すれば在米日本人会、総領事館に報告すべし。</p> <p>②彼らに諸証明保証を拒絶することあり。</p> <p>③改換なき者には故原籍地役場および父兄に報告、また在住地を放逐、加えて原籍氏名を新聞紙上に公告す。</p> <p>5. サンバナデノに日本人会結成。</p>	<p>3. サンタババーパラ日本人教会創設さる(同教会は1903年支那人教会内にあり。1908年支那人教会より分離し、日本人ミッシェンが開かれ、夜学校、日曜学校がもたれていた。当時会員は7名)。</p> <p>10. 広島県人を中心とする仏教信徒の集団が羅府に南加仏教会を創設(羅府仏教会とは別組織)。</p>	<p>1. オクスナードで日本文語学園開設。南加で2番目。</p> <p>2. 羅府日本文語学園の生徒報告。</p> <p>3. 羅府日本文語学園の幼稚科19名、予備科3名、補習科10名。</p> <p>3. 羅府毎日新聞発刊。</p> <p>3. モネタ日本人会、日本文語学園を開く。</p> <p>同日日本人会幹事が教師となる。</p> <p>4. 桑港新世界新聞6,000号に達し、羅府支社でも祝賀式を行う。</p> <p>7. 南加大学日本人学生会から「南加学恋」出版。</p>	<p>1. 商船学校練習船大成丸、学生を131名載せサンビドロ港に入港。羅府日本人会大歓迎。</p> <p>2. 南加各地を訪問した代議士 島田三郎より羅府日本人会に礼状が届く。「結婚の便宜を願ふ事」と再渡航延期の事は速に相届申候。</p> <p>4. 第9回万国赤十字社大会出席のため、日本赤十字社代表団来羅。日本クラブで歓迎会。800名出席。また、日本赤十字社南加支部大会も開かる。日本文語学園、仏教会に寄付あり。</p> <p>4. 練習船大成丸より羅府日本人会に礼状が届く。</p> <p>6. 志賀重晶来羅。中央アジア探検について講演す。</p> <p>8. サンデューゴ付近に漂着した住吉丸の5名、中央移民局の命により日本に送還。</p> <p>8. 商船学校練習船大成丸、サンデューゴ港に入港。羅府日本人会歓迎及び日本人移民の状懸及び日本人排斥の事情調査のため、竹越與三郎来羅。</p>	<p>5. 西ハリウッドのデーウォーク業者(日本人)が時給を25セントから30セントに値上げしたことに対し、同地一帯の婦人はこれら日本人の代りに白人か、他地方の日本人を雇うことを決議(当時の羅府市内の賃金は30〜35セント)。</p> <p>なお、これは労働・職業欄の数字と若干異なっている。</p>	<p>1. M. 37〜8年の戦役に功労ありとして日本政府より羅府新聞社、新世界新聞社、日米新聞社に銀盃下賜される。</p> <p>1. H. B. ジョーンソン博士の叙勲祝賀会が羅府日本人教役者同盟主催の下に開かる(スタンフォード大のジョンソン博士とともに日本人擁護のために奮闘したことに対し)</p> <p>2. 羅府市内の日本人街での風紀の乱れに羅府日本人会、教役者同盟、記者クラブ等提携して市に善処を依頼。この掃蕩運動は功を奏す。</p> <p>4. 愛媛県人、米国及び万国飛行士免状を得る。</p> <p>5. 茨城県人、万国飛行士の免状を得る。</p> <p>5. 加州に7万台の自動車あり。うち$\frac{1}{2}$は羅府市内に。日本人については、エキースプレストン用5,</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他	
1912 (M. 45) 続	<p>10. 羅府市内に新築された田中病院で大園遊会なされる(南加日本人間でなされた最大のもの)。</p> <p>11. 日本人俳優として映画界に入る男女あり。栗原トーマス、青木つる子。</p> <p>11. 日本海軍軍人、飛行免状を獲得。</p>	<p>5. ロサンゼルス港およびサンピドロ港の漁業従事者、同業者の連絡・保護を目的に日本人漁業組合を作る。組合員100余名。</p> <p>7. 羅府日本人会執務の証明問題に關し虚偽の報告をしたとして幹事排斥の声があがり、会合がもたれ日本人会役員に非難が集中。</p> <p>7. 日本人会の証明問題に關し、県人会連合幹事会を開き、日本人会と以下の交渉を行うことを決議。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○証明調査を委員制度とする ○県人会の保証書を廃止すること。 ○神奈川県人会問題を調査すること。 <p>7. 天皇陛下御不例の報が桑港総領事館より羅府日本人会にあり。直ちに宮内大臣あて電報をうつと同時に同胞に以下の報告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同胞は謹慎の意を表し歌舞音曲等の行為慎むべし。 ○料理屋、旅館、興行場、その他公衆の集會場にて不謹慎の行為あるべからず。 <p>7. ヘラルド新聞社より羅府日本人会に陛下御崩御の報あり。宮内大臣に電報を打ち、同胞に次の布告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聖上陛下御崩御。謹値静粛を守り、事情の許す限り營業を停止すること。 ○総領事館より公式に御大喪期が発表されたらば改めて告示する。 						<p>商店用6, 商人, 医師, 個人用がそれぞれ12, 南加州全体で50台ぐらい。</p> <p>5. シュライナー大会祭典に花車が参加。羅府日本人会, 礼状を受く。</p> <p>5. カダルービ地方で同胞の支那賭博の撲滅に成功。祝賀会を開く。総領事も出席。</p> <p>6. 羅府市在, 高橋梅子(19才)遺書を残し自殺。</p> <p>6. 羅府市内にて白人が日本人の自動車にひかれ死亡。被害者の過失と裁断されたが, 加害者は1カ年に巨り毎月30ドルを支払う。</p> <p>8. 大正となる。</p> <p>8. 「労働世界」に誹謗記事を書いたとして佐村福楳起訴さる。</p> <p>9. オーションパーク大火。日本人営業者の類焼者9軒, 損害4万ドル。</p> <p>10. 山口県人会主催の下, 乃木大</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1912 (M. 45) 統	<p>羅府日本人会は南加各地連合日本人会にこの旨を通知。日本料理店は3日間休業。</p> <p>8. 南加農業組合長、総会にて除名さる。</p> <p>8. 時局演説会が開かれ、羅府日本人会の証明問題に非難が集中。</p> <p>8. 羅府日本人会、旧市場会社、羅府新報社、朝日新聞社間で争いあり。</p> <p>9. 大行天皇御大葬当日(13日)、同胞は休業。羅府日本人会主催の御大葬遙拝式行わる。参加者3,500名。また、南加各地の日本人会でも同様の遙拝式を行う。</p> <p>12. 南加在住実業家で年収1万ドル以上の者集って南加実業会を羅府市内で結成。</p>	<p>羅府日本人定期総会開かる。出席者465、傍聴者300余名、連合県人派が役員選挙の運動を展開。若干の改正あり。羅府日本人会を南加日本人会に、幹事を書記長に、常任委員を参事員にそれぞれ名称変更。参事員の数を18名から27名に増員。</p> <p>1. 南加静岡岡県人会結成。</p> <p>1. 「インデミアン、黒人、及び支那人または蒙古人に対し隔離学校を設立すべし」との修正案が加州議会に提案されたことに対し、黒人の団体から反対運動への協力が南加日本人会に求められたが、同会は協力し難き旨を回答。</p> <p>2. 羅府婦人会結成さる。</p> <p>3. 在米日本人会書記長米羅。</p>	<p>3. 日本人女子基督教青年会創立さる(青年女子の精神教育、知育、体育及び奉仕と社交を基とし、同胞婦人の向上に努めるのが目的)。</p> <p>3. 羅府在留日本人教役者及び邦字新聞記者の懇談会が羅府で開かる。この会合を月曜会と名づけ次の決議をす。</p> <p>① フレスノ市における一部同胞の中加時報社に加えられた暴行は言論の権威をおかすものだ。</p> <p>② このような悪風は矯正すべし。</p>	<p>2. 月刊「労働世界」と改題。</p> <p>4. 実業新報社の経営者が佐村福雄から土屋新平に代る。</p> <p>5. 鈴木北川著「暗黒の羅府」(日本人会役員選挙騒ぎをテーマとする)。</p> <p>7. 羅府新報、3,000号を祝う。</p> <p>10. 元新聞羅府支社加州の日本人児童数は2,040。このうち、公立小学校に通学するもの羅府市内175、市外138。幼稚園に通学するもの市内</p>	<p>2. 日本人種球家、羅府で米人チャンピオンと模範競技。</p> <p>2. 加州における最初の母国訪問団12名が日本へ出発。</p> <p>5. シヤトル日本人会代表、ヴァンクーパー日本人会代表、外人土地法案通過後の日本人慰撫のため米羅。</p> <p>6. 日本連合商業会議所、添田寿一、日米同志会、神谷忠雄、加州同胞を慰問。</p> <p>6. 加州土地法通過後の同胞を慰撫激励するため国民党代表米羅。</p> <p>「欧米人と平等の待遇を受けるよう自省し、また</p>	<p>3. 羅府中央部より西南部にかけ白人悪童が出て没。投石のため負傷する者あり。日本人会は警察署に取締りを要求。</p> <p>5. 外人土地所有禁止並びに借地3カ年制限法案は、上下両院とも通過(中央政府はその阻止に努力するも効を奏さず)。</p> <p>5. 加州第40議会上下両院通過の外人土地所有禁止法案、知事</p>	<p>10. 羅府新報訴えらるるも起訴には至らず。</p> <p>1912年10月頃より降雨なく農家は心配していたが、1月5日風強く、寒氣加わり、結水のみり。ミカン・果実の被害は50% (約 1,000 ～ 1,500万ドル)、野菜は60%(300～500万ドル)に達すると見こまれる。加州議会はミカン業者に保護の道を講ずる決議をする。</p> <p>6. 熊野行者と称する怪僧、気合術で病気を治</p>
1913 (T. 2)	<p>2. 横浜正金銀行桑港支店の分店が羅府市内に設けられる。</p> <p>2. 羅府市内に日本人切花市場が設けられ、従来の無統制の路傍取引がなくなる。南加市場の濫觴。</p> <p>4. 羅府で日本流の漬物問屋が開かる。</p> <p>5. 羅府日本人理髪業者組合は、白人同業者の要求に応じ散髪料を25セントから35セントに植上げ。</p> <p>7. 岡山県人、羅府市内にて日本流の瓦の製造・販売を行うも不成功。</p> <p>8. エルモント在住の群馬県人、果実樽採用の袋を案出。米政府の新案特許を得る。</p> <p>8. 加州土地法の実施に対し、土地所有権を確保する必要か</p>	<p>1. 羅府日本人定期総会開かる。出席者465、傍聴者300余名、連合県人派が役員選挙の運動を展開。若干の改正あり。羅府日本人会を南加日本人会に、幹事を書記長に、常任委員を参事員にそれぞれ名称変更。参事員の数を18名から27名に増員。</p> <p>1. 南加静岡岡県人会結成。</p> <p>1. 「インデミアン、黒人、及び支那人または蒙古人に対し隔離学校を設立すべし」との修正案が加州議会に提案されたことに対し、黒人の団体から反対運動への協力が南加日本人会に求められたが、同会は協力し難き旨を回答。</p> <p>2. 羅府婦人会結成さる。</p> <p>3. 在米日本人会書記長米羅。</p>	<p>3. 日本人女子基督教青年会創立さる(青年女子の精神教育、知育、体育及び奉仕と社交を基とし、同胞婦人の向上に努めるのが目的)。</p> <p>3. 羅府在留日本人教役者及び邦字新聞記者の懇談会が羅府で開かる。この会合を月曜会と名づけ次の決議をす。</p> <p>① フレスノ市における一部同胞の中加時報社に加えられた暴行は言論の権威をおかすものだ。</p> <p>② このような悪風は矯正すべし。</p>	<p>2. 月刊「労働世界」と改題。</p> <p>4. 実業新報社の経営者が佐村福雄から土屋新平に代る。</p> <p>5. 鈴木北川著「暗黒の羅府」(日本人会役員選挙騒ぎをテーマとする)。</p> <p>7. 羅府新報、3,000号を祝う。</p> <p>10. 元新聞羅府支社加州の日本人児童数は2,040。このうち、公立小学校に通学するもの羅府市内175、市外138。幼稚園に通学するもの市内</p>	<p>2. 日本人種球家、羅府で米人チャンピオンと模範競技。</p> <p>2. 加州における最初の母国訪問団12名が日本へ出発。</p> <p>5. シヤトル日本人会代表、ヴァンクーパー日本人会代表、外人土地法案通過後の日本人慰撫のため米羅。</p> <p>6. 日本連合商業会議所、添田寿一、日米同志会、神谷忠雄、加州同胞を慰問。</p> <p>6. 加州土地法通過後の同胞を慰撫激励するため国民党代表米羅。</p> <p>「欧米人と平等の待遇を受けるよう自省し、また</p>	<p>3. 羅府中央部より西南部にかけ白人悪童が出て没。投石のため負傷する者あり。日本人会は警察署に取締りを要求。</p> <p>5. 外人土地所有禁止並びに借地3カ年制限法案は、上下両院とも通過(中央政府はその阻止に努力するも効を奏さず)。</p> <p>5. 加州第40議会上下両院通過の外人土地所有禁止法案、知事</p>	<p>10. 羅府新報訴えらるるも起訴には至らず。</p> <p>1912年10月頃より降雨なく農家は心配していたが、1月5日風強く、寒氣加わり、結水のみり。ミカン・果実の被害は50% (約 1,000 ～ 1,500万ドル)、野菜は60%(300～500万ドル)に達すると見こまれる。加州議会はミカン業者に保護の道を講ずる決議をする。</p> <p>6. 熊野行者と称する怪僧、気合術で病気を治</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1913 (T. 2) 続	<p>ら、株式会社組織としたもの 6社あり(資本金は1万ドル ～2万ドル)。</p> <p>10. 花園業者らフロラルアート デスプレナー会社をつくり、狗 人形の展覧会を開くが排日気 分に悩まれて予期の成功を収 め得ず。</p>	<p>日本人排斥運動への対抗策を 講ずるようにとの要請あり。 南加日本人会は役員会を開 き、続いて南加各地の日本人 会、新田農業組合、伝道団、 実業組合の代表をあつめ協 議。南加日本人会の外交部委 員、伝道団、日米協会、実業組 合、日加農業組合、新聞記者ク ラブの委員に運動方法を任 す。</p> <p>3. 南加日本人会、羅府日本人 実業組合、キリスト教伝道団 は次の警告文を出す。 「不良・無職・浮浪の徒が横行 している。同胞はトバクそ 他社会の秩序・風紀を乱すこ とのないよう注意すべし」。</p> <p>4. 加州議会で外国人土地所有 禁止法案が通過する形勢のた め、羅府日本人の各団体は連 合大会を開き、外交手段に訴 えることを決議。南加日本人 会より日本の新聞社5社に日 本の世論を喚起するべく電報 を打つ。</p> <p>4. 在留民、大会を開き、連合 団体と同様の決議をし、南加 日本人会より電報を打っても らう(外務大臣、東京商工議 所、大隈重信、波沢栄一、原敬、 高峰謙吉、対米同志会宛)</p> <p>4. 南加連合日本人会、臨時代 表者会を開く。法案通過阻止 の運動基金として1万ドルを 募集することを決議。</p> <p>4. 南加農業組合、日加農業組 合、羅府実業組合、南加花園業 者組合、専耕作者組合の実業 諸団体、連合して州会に抗議。 4. 在米日本人の外国人土地所</p>	<p>③浮浪漢が多くなり同 同胞社会の秩序を 乱しているのを、 彼らを去さすべ し。 4. 日本人教役者並び に邦字新聞記者の団 体より、加州の外国 人土地法案に対する 援助を南加ブリーチ ャーズユニオンに求 めていたが、同ユニ オンより擁護する旨 の回答を得る。同ユ ニオンより大統領に 宛てた電報の内容は 次の通り。 ①外国人土地法案は 非キリスト教主義 で伝道問題。 ②これは日米の国交 を傷つける。 ③両国の貿易を阻害 する。 5. 月曜会、次の決議 をす。 ①排日法案が通過し た今、同胞は軽拳 をつつしむべし。 ②そのため南加日本 人会と協力してこ とにあたる。 7. 共助会(クラーケ 牧師の創意せるも の)の万国大会が羅 府で開かる。南加日 本人会より多くの牧 師参加。 7. 明治祭通拜式挙 (式辞：南加日本</p>	<p>25. 市外13. 日本語 学園に關しては、羅 府日本語学園の幼稚 科24. ベツレヘム教 科56. 予備科10. 補習 科24. ベツレヘム教 科24. ベツレヘム教 科50. 仏教会10. モネ ータ学園25. ロング ビーチ7. ポート・ロ クスアゼルズ5. オ クスナード10. サン タンバーバラ10. サン デーゴ7. 11. 桑 港 日 米 新 聞 5,000号を祝う。 12. 宮村碧山著「南加 州日本人及び事業」 第2版。 12. 在羅府の邦字新聞 社の代表者が相真ま り、 ①新聞社は日本人会 の選挙に関与しな いこと。 ②記者クラブの組織 を強固にし、日本 人会督助の地位に たつよう努力する ことを決議。</p>	<p>アメリカ人にわれわれが 好ましからぬ国民でない ことを覚らしめなければ ならぬ」</p> <p>7. 山口熊野、和歌山県人 を慰問のため来羅。 「諸君は敵国の捕虜とな って、内地の日本人より 強健なる身体、健全なる 精神を有しているよう だ。わが民族のため頑張 れ」。</p> <p>7. 2月出発の、加州最初 の母国訪問団帰国。南加 日本人会歓迎会を行う。 7. 日本南極探険隊員(隊 長白瀬中尉)来羅。講演 会には千余名。 8. 京大教授 未広重雄、加 州土地法研究のため来 羅。 「在加州の日本人は米人 からの偏見に對し大なる 努力と忍耐を要す」。</p> <p>8. 政友会より、在米日本 人訪問使来羅。 8. 羅府新報社主催の母国 訪問団(74名)出発。 8. 日本基督教組合派の元 老小崎弘道牧師来羅。 10. 同志社大学教授 シドニ ー・ギューリック全米を 行脚し、日米両国の平和 を説く。 「人類はキリスト教主義 にもつき平等の觀念の 下に相互相倚って生存せ ねばならぬ」。</p> <p>11. 三井物産所屬の商船、</p>	<p>が署名し、8月 より実施とな る。</p> <p>6. リバサイド市 在住の朝鮮人が アブリコット摘 採の労働で排斥 を受ける。南加 日本人会は真相 調査を行う。</p> <p>7. 羅府市内にて 米人、日本人同 伴の故をもって キャンデー店で 客たることを拒 絶さる。</p>	<p>8. 病者来集 し、門前市をな す。</p> <p>8. インペリアル バレエにて甜瓜 耕作に従事の65 農家、9名の白 人とともに甜瓜 の仲買商を横領 のなどで訴え る。</p> <p>11. サンフアナ ド平原にてオー エン河工道工事 完成祝賀会開か る。同胞も角力 ・柔道を披露。 全道240マイル、 水量は200万住 民と15万エーカー の農地をまか ないいうる。 2,300万ドルの 巨費を投ず。</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1913 (T.2) 続		<p>有禁止法案に対する決議。 ①時局問題の根本的解決法として帰化権獲得を期す ②そのため本年内に3万ドルを支出する。 5. 今上陛下御不例の報、南加日本人会、宮内大臣に見舞電。 6. 岩手県人会発足。 7. 日本人食料品商組合、雑貨商組合は日本人街より一切の日本看板を撤去することを決議し、実行に移す(排日緩和のため)。 7. 南加各地連合日本人会(16団体)臨時代表者を開く。 9. 農業研究・農家の利益保護を目的にタルバパートに農談会誕生。 9. 羅府洋服洗濯業者組合つくらる(同業者の増加と利益保護のため)。 9. 加州日本人中央農会の設立に参加すべきか否かの相談会開かる。南加各地の農業者参加。参加を決議。 9. 羅府日本人実業組合、シャトル、桑港の邦字新聞に次の広告文をのせる。 「南加州の資金は他地方に比し1割高く、仕事は1年中ある。金儲けをしようとする者、職業を得んとする者来たれ。」 11. 南加日本人会独立問題の交渉のため役員が在米日本人会幹部と会見。進展なし。 11. 南加日本人会・リバサイド日本人会の代表、太平洋日本人会代表者会に出席。西部連合日本人会設立を決議するも実現せず。</p>	<p>会長) 8. モンテペロ在住の日本人、同地に組合教会をおこす。同時に日本語小学校を開設。 10. 天長節奉祝会、各地で行わる。南加日本人会主催の会合には5,000人來。</p>		サンピドロに入港。日本の商船の同港への入港はこれが最初。		

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1914 (T.3)	<p>3. 鮭のカンゾメ製造を目的とする南加州沿岸漁業会社(資本金75,000ドル)がサンピドロに設立される。</p> <p>4. 日本人漁夫とイタリア人漁夫とがサンピドロ沖にて職業上のことから衝突。イタリア人側より調罪。</p> <p>5. 南加州沿岸における日本人漁業の統計。 サンピドロ港：156名, 52艘, 260トン ロサンゼルス港：52名, 8艘, 40トン サンデューゴ港：60名, 20艘, 80トン オクスナード港：6名, 1艘</p> <p>8. 羅府市内の日本人切花市場、市内を移転。</p> <p>12. サンピドロ市に日米人共同の加州鮭供給会社(資本金10万ドル)創立される。</p>	<p>1. 南加日本人会定期総会。</p> <p>2. 東北地方の飢饉、桜島の噴火等各地の災害に対し、県人会とは別に南加日本人会、義捐金を募集。</p> <p>2. 南加日本人会の役員選挙をめぐって会員対立。再選挙。</p> <p>3. 南加日本人会は連合県人派と革新派に二分され、滞羅中の服反目しているが、滞羅中の服部雄雄、調停にのりだす。</p> <p>4. 南加各地の日本人会代表者が集まって南加連合日本人会を新設。</p> <p>4. 昭憲皇太后崩御の報あり。南加日本人会は、①南加日本人会名にて宮内大臣に弔電をうつ。②同胞は1週間謹慎を守り、歌舞音楽を中止。③葬同日は遙拝式をおこない、同胞は休業。</p> <p>7. 南加島根県人会結成。</p> <p>7. 証明権の問題で南加日本人会と地方の日本人会が対立。南加日本人会を除いて地方の各日本人会は南加連合日本人会をあらたに設立。</p> <p>7. サンタバーバラの熊本県人、同県人のトバク行為にみかね賭博禁止同盟会を設立。</p> <p>7. 羅府、ハリウッド、バサデナ周辺の植木業者、組合を結成。</p> <p>7. 南加山梨県人会、組織を新たにす(3度目)。</p> <p>8. ウィルソン大統領夫人逝去の際、南加日本人会より弔電を差したが、同大統領より礼状が届く。</p> <p>9. 先に南加日本人会を除い</p>	<p>3. 東京麹町の牧師、網島佳吉、南加組合教会牧師会に臨み、「目下の日米問題に際し、キリスト教徒の奮起を説く。」</p> <p>3. 羅府市内に真言宗教会設立される。米国での最初。</p> <p>5. 組合教会教師年会(於サンデューゴ)は次の決議をする。 ①南加組合教会青年会の名で、大統領に排日問題の解決に努力を請う電報をうつ。 ②駐米日本大使にも同様のものをうつ。 ③東京の番町組合教会に年会の様子を詳報する。</p> <p>7. 羅府市内に日蓮教会創立。</p> <p>9. アリス・ハーウッド(日本人組合教会の前身なる英和学校をおこした宣教師)を、彼女の教えを受けた人達が見舞う。</p> <p>10. 基督教会会館落成式(敷地1万ドル、建築費2万3千ドル、家具3千ドル、H・ガイ博士の設計)。</p> <p>10. 仏教会主催の下さる(羅府での最初)の企て。</p>	<p>2. 羅府市内に日本人小児保育所設立される(美以教会員で人道会幹事を同所の主任とする)。</p> <p>4. スメルザ留同胞、日本語学園を開く。</p> <p>5. 久保四郎著「南加の広島史の最初」での県人史の米セントルイスの米人新聞記者、加州土地法を批判。</p> <p>6. 南加日本人会調べによる、羅府の邦字新聞。日刊：羅府新聞、朝日新聞、万週刊：実業新報、万週報、大正時報。</p> <p>7. 休刊中の南加時事、再刊。</p> <p>8. 羅府タイムズ、日本の対独宣戦を批判。</p> <p>10. 金子武一著「飛行機及自動車」(東京より出版)。</p> <p>10. 羅府新報、青島攻囲軍に慰問袋呈を計画。</p> <p>11. 同計画に対し、8,000以上の慰問袋が集まる。重さにして3も。桑港経由日本へ。</p> <p>12. 羅府新報記者、藤井宏基、千葉県より政界に立候補する旨の表明をおこす。</p>	<p>1. 羅府新報社母国訪問団、帰国し、解散式を行う。</p> <p>4. 国民党前代議士 服部雄雄、桑港で客死。南加日本人会は弔意を表し、追悼会を開く。</p> <p>5. 帝国練習艦隊浅間・吾妻、サンピドロに入港。同胞の各団体歓迎。南加日本人会より慰問袋1,800を贈呈。また南加日本人会は歓迎費用として1,929ドルを募集。</p> <p>8. 帝国軍艦出雲、サンデューゴ入港。サンデューゴ日本人会歓迎。</p> <p>8. 志賀重昂来羅。欧州戦争について講演。</p> <p>9. 明治大学野球部来羅。亡命中の支那国民党首領来羅。日支提携の必要を力説す。</p> <p>10. 早大教授 大山郁夫、代議士 増田義一来羅。大山大演説。</p> <p>11. 牧師 網島佳吉来羅。学問の独立、政治の刷新、世界思想への貢献を説く。</p> <p>12. 桑港総領事館員、アリゾナ州在留同胞の視察後來羅。同地居住者約330名。</p>	<p>8. 羅府エキザミナー紙、南加州に5,000人の軍人がおり、これらを統率する団体を発表。</p>	<p>1. バサデナ市の花祭は25年記念祭として盛大におこなわれ、日本お土産の花車は1等賞を得る。</p> <p>1. 金子真成、帰化資格の調査を受ける(金子は1891年、レットランドで第1帰化証を、1896年サンバナデノ郡裁判所で正式の市民権を得ていた)。</p> <p>3. 太平洋電鉄会社のサンピドロ街線路が開通し、日本人街を貫通。</p> <p>5. 昭憲皇太后御大喪遙拝式行われ。日本人商店街休業。</p> <p>6. 南加在留同胞の故国送金額を県別にみると、多い順に広島、和歌山、福岡、熊本、岡山、山口、個人別にみると1位は和歌山県人。</p> <p>7. スメルザ在住の野口某、羅府新報を語る(プライバシーの侵害のため)。</p>

年次	労働・職業	組 織	宗 教	教育・出版	往 来	排 日	そ の 他
1914 (T. 3) 統		<p>て、地方の各日本人会は南加連合日本人会を設けたが、その後南加日本人会と交渉、これを解散し、従来の如く羅府に連合日本人会事務所を置く。</p> <p>10. 南加日本人会連合代表者会を開き、日本人連絡規約を作る。</p> <p>①南加各日本人会は相互の便宜と融和をはかり、同胞発展のため協力す。</p> <p>②南加日本人会は、南加の中核団体であり、諸般の執務と各種集会を主催する。</p> <p>③毎年1回(11月)協議会を開き、南加共通の問題を協議。</p> <p>④協議会は南加日本人会より15名、独立地方5名、日本人会2名、その他各日本人会より1名ずつ選出して構成。</p> <p>⑤別に常置委員会を設け、臨時緊急事件を協議。</p> <p>⑥常置委員会の構成は各地日本人会より3名、南加日本人会より3名とする。</p> <p>⑦目的遂行のための費用の分担：南加日本人会$\frac{7}{100}$、証明権を有する独立日本人会(サンタバーバラ、サンデーゴ、スメルズ、リバサイド、オクスナード)：$\frac{7}{100}$、帝国平原、パサデナ、モネタ、サンバデノ、ロングビーチ、サンデアナ：$\frac{7}{100}$、ランポーク、ニューマーク、アナハイム、オレンジ：$\frac{1}{100}$。</p>		<p>(翌年1月帰国したが、形勢不利と判断し断念)。</p>			<p>25,000ドルの損害賠償を請求)。</p> <p>8. 中村万吉主催の下、欧州戦争に関する時局大演説会が開かれる。聴衆1,200名。</p> <p>10. 早川雪洲の出演する映画「タيفون」評判となる。</p> <p>10. 池内清光(ドクター)が自宅に日、米の新聞記者を招待し、日米人親睦会を開く。</p> <p>11. 木下憲蔵、笹井鹿之助主催の母国訪問観光団22名羅府を出発。</p>
		<p>10. 羅府日米協会主催の下に、</p>					

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1914 (T. 3) 続	<p>日米問題大演説会あり。</p> <p>11. 天長節に合せ、南加日本人会主催の下に秋季大運動会開かる。2,500名参加。</p> <p>12. 映画会社で働く日本人活動俳優、俱樂部を組織。</p> <p>12. 南加日本人会発表の同管轄区域内の児童数内訳：米国生まれの日本児童750名(最年長18才)、男300、女450。別に20名の日白混血児あり。</p>	<p>日米問題大演説会。</p> <p>1. 南加日本人会定期総会。</p> <p>1. 日本人花園業者組合定期総会。</p> <p>1. 千葉県人会再組織さる。</p> <p>1. 南加各地日本人会代表者会開かる。</p> <p>1. 南加州は在米日本人会より独立すること。</p> <p>1. 羅府在住の有志、大隈伯後援会を組織。</p> <p>2. 桑港パナマ太平洋世界博覧会に対し、南加日本人会は祝電を發す。</p> <p>2. 桑港パナマ大博覧会日本事務局副總裁の桑港到着に際し、南加日本人会は祝電を發す。</p> <p>2. 羅府日本俱樂部と羅府日本人実業組合とが合併。もっとも、名称は両者を使用する。</p> <p>3. 南加連合日本人会より照会中のサンデーゴ市でのパナマカリフォルニア博覧会協賛部補助問題について外務省より補助できない旨回答あり。</p> <p>4. モネタの商業会議所主催の春祭りにモネタ日本人会より種々の寄付がなされる。</p> <p>4. 大正天皇の御即位式を記念、</p>	<p>2. 京都洛陽教会牧師木村清松、東部より帰途来羅。2週間の連続説教を行う。</p> <p>5. カトリック宣教師ブレントン神父、日本人児童の保育をはじめめる(メリノール日本人孤児保育所の前身)。</p> <p>6. 日本聖公会内に幼稚園が設けらる。</p> <p>3,000ドルの土地寄付、2,000ドルの募金あり。</p> <p>6. ロングビーチ日本人長老教会開館式。</p> <p>7. 羅府各仏教教主権の下に日本からの老僧の説教あり。</p> <p>10. 羅府朝日新聞社主催の故国訪問觀光団30名出発。</p> <p>11. 羅府新報社社屋移転。紙面を拡大。</p> <p>11. 羅府新報、今上陛下御即位記念号を發行。</p>	<p>1. 外国人土地所有禁止法案の制定以来、日米関係は悪化し、両国の新聞は日米戦争の免れ難きことを説く(この期に、南加各地の大学総長は日米親善を説く)ボモナ大、オクシデンタル大、パサデナ工科大、レドランド大、ス大、レドランド大、ホイテア大)。</p> <p>5. 増田章一郎、玉利登司夫、月刊誌「新家庭」創刊。</p> <p>6. 南加大学の本朝卒業生、同胞有志の祝賀会に招待さる。</p> <p>10. 羅府朝日新聞社主催の故国訪問觀光団30名出発。</p> <p>11. 羅府新報社社屋移転。紙面を拡大。</p> <p>11. 羅府新報、今上陛下御即位記念号を發行。</p>	<p>1. 帝國軍艦、浅間が座礁。サンデーゴ市のエム・ケ一漁業会社は救助船を出す。南加各地の日本人会より多くの慰問品が届けらる。</p> <p>2. 東洋汽船の南米航路客船、サンピドロに入港。南米行き日本人客209、支那人30名。日本人有志歓迎。</p> <p>3. 海軍參議官海軍大將出羽重遠、パナマ運河開通式出席のため来羅(開通式は7月に延期)。</p> <p>3. パナマ太平洋世界博覧会日本事務局副總裁瓜生外吉来羅。歓迎会。</p> <p>4. 東洋汽船の南米航路客船、サンピドロに入港。日本人280、支那人182、ヒソゾー18名。</p> <p>4. 在米同胞の元老若原人野田音三郎死去。南加日本人会会長葬儀に参列。</p> <p>4. パナマ太平洋博覧会のため静岡県茶業組合一行来羅。静岡県人会、南</p>	<p>4. ルイジアアナ州ニューオーリンズ市の土地売買組合業者が日本人排斥の決議をする(事のおこりはスマメルザ在住の和歌山県人が同地に男9名、女5名、小児6名を入籍させたことによる)。</p> <p>4. 羅府の活動写真館で差洋人に對する差別待遇が頻発(使用人が弁明によれば、東洋人は白人間の風俗、習慣を軽んじ、他の客の嫌悪を買うこと)。</p> <p>12. 加州選出上院議員、ジョン・デー・ウォークス陸軍省に報告。「加州には精鋭3倍を賠償せしめよう。他方原</p>	<p>1. サンピドロ商業會議所、1914年度の統計を以下の表のように発表。</p> <p>1. 桑港に入港の船：687、そのトン数：100万3,244、総輸入額：約6,084万ドル。</p> <p>1. 日本への輸出品：ガソリン、石油。</p> <p>2. 1913年インベリアルパレール在住の甜瓜耕作者が仲間商の横領に對し49万ドルの損害賠償を求め訴訟をおこしたが、その後経過につき弁護士より以下の報告あり。「未だ係争中だが、被告が敗訴すると損害額を3倍を賠償せしめよう。他方原</p>

年次	労働・職業	組 織	宗 教	教育・出版	往 来	排 日	その他
1915 (T. 4) 続	<p>して南加日本人小児写真帳を發行することが発表さる。</p> <p>5. フェイエスタ祭に各団体が参加。</p> <p>5. 南加大分県人会結成。</p> <p>6. サンタバーバラ日本人会よりの報告。1910年頃同地の婦人は5〜6名、1915年には47名。同地出生児45名。</p> <p>6. 加州州庁報告。加州在留日本人総数55,000、うち農業従事者22,000、学生1,200人。地域別では桑港6,188人、沿岸地方7,000人、サクラメント郡6,000人、ロサンゼルス郡11,500人。</p> <p>7. 日本外務省より羅府に領事館をおく旨の発表あり。</p> <p>7. 和歌山県人、愛知県人により記者倶楽部、実業組合等によりびかけ敵清運動をおこす。その第1歩として無職の浮浪人の一掃。</p> <p>7. 南加日本人会主催の会で、シドニー・ギュリック博士演説す。</p> <p>「日本人の立場からのみの判断では困る。米国の労働組合の排日論にも一理はある。日本人の眞価を米国人に了解してもらうため忍耐・努力してほしい。」</p> <p>8. 羅府に領事館開設さる。管轄区域は南加9郡、アリゾナ及びニューメキシコ州。</p> <p>8. 南加連合日本人会臨時代表者会開かる。</p> <p>羅府領事館の開設とともに、南加州は在米日本人会から離</p>	<p>「諸君は日本民族の代表者として海外に発展する以上キリスト教精神をもって頑張れ。」</p> <p>10. 日本仏教53派を代表して在米日本人を慰問のため、八淵幡龍来羅。</p> <p>11. 天長節遙拜式(南加日本人会ホールにてなさる)。</p>	<p>加日本人会連合主催の会がなされる。</p> <p>7. 帝國軍艦 浅間サンピッド号に入港。</p> <p>9. 東京大角力一行来る。</p> <p>入場者初日3,000人、2日目3,500人、3日目1,000人、4日目800人。総収入8,000ドル。純益4,000ドル。日本語学園に100ドル寄付。</p> <p>9. 前大統領タフト来羅。</p> <p>羅府商業会議所主催の会で演説。</p> <p>「移民法(紳士協約)は不当である」</p> <p>10. 桜睡の一行24名来羅。</p> <p>10. パナマ太平洋世界博覧会見物のため新聞記者団の一行10名来羅。</p> <p>11. 東京実業団一行来羅。日本語学園に50ドル、中央農會・実業組合に各25ドルを寄付。</p> <p>12. 波沢栄一來羅。「日米両国相提携し、世界平和のために貢献せよ」</p> <p>日本語学園に100ドル、実業組合、中央日本人会に各50ドル寄付。</p>	<p>の日本兵3万以上が居住。またハワイ全島は日本に占領されるに等しい」</p> <p>12. 早川雪洲主演の映画が対日感情を悪化させるものとして、この映画の興行反対運動を展開。</p>	<p>告より訴訟費用はまだ受取っておらず、自分はおらずに1万2千ドルを費した」と。</p> <p>3. 日本政府の対支那21ヶ案要求に対し、米国人の支那人の日本人に対するボイコット発生。日本人も支那人ボイコットを開始。やがて和協親睦を申し合せらる。</p> <p>3. ニューマーク在住の農業家と横浜正金銀行との間に争いが生ずる。</p> <p>5. インペリアルパレー甜瓜耕作者再び訴訟をおこす。</p> <p>6. 野口某對羅府新聞の訴訟撤回。</p> <p>7. 羅府で和歌山県人、痴情のもつれから白人に殺さる。</p> <p>10. 日本外務省によれば、本年6〜8月の3ヶ月間の渡米者数3,075人、帰国者数2,370人。米本土へは</p>		

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1915 (T. 4) 続		<p>れ、中央日本人会をおくこととなる。</p> <p>理事長：湯浅銀之助</p> <p>8. 羅府領事館開設記念園遊会。3,500余名参加。</p> <p>8. サンデーゴ市でなされているバナマ加州博覧会の日本デーでは同地日本人会を中心に盛大に行う。</p> <p>9. 中央日本人会の執務を開始。</p> <p>10. 広島県庁内に広島県種民協会設立(海外協会の租)。</p> <p>11. 今上陛下御即位式の大典、日本人会を中心に各地でおこなわれる。南加日本人会は記念章をつくり一個につき50セントの寄付を受く。</p> <p>11. 大山副領事主催の日本皇帝陛下即位式祝賀の夜会催される。</p>					<p>2,189の渡米者、うち1,400人が移民、789人が非移民。</p> <p>11. 榎木園主より米國種バラを皇室へ献納方向中の所、許可あり。</p> <p>11. レッドランド在住の日本人、日本種桜樹を200本同市に寄付。</p> <p>12. 羅府で日本人3人組、日本人経営の飲食店を興う。</p>
1916 (T. 5)	<p>3. 白人会同の会社(専用バスケット製造販売業)がモネタ日本人会幹事の努力で設立される。</p> <p>4. 第9街新市場会社総会。新社長：白人、副社長：日本人、幹事：支那人。</p> <p>5. 大正4年中、南加日本人よりの故国送金額255万8,720円、大正3年中、287万2,001円。以上は正金銀行、アメリカン貯金銀行経由で、この他に郵便局経由による送金もあり。</p> <p>7. 羅府に大弓場開設。</p>	<p>1. 南加日本人会定期総会。</p> <p>○南加日本人会を羅府日本人会と改称。</p> <p>○参事員を27名から31名に増員。</p> <p>○日本語学園に毎月50ドルの補助をすること。</p> <p>1. 中央中央日本人会代表者会を開く。</p> <p>1. サンデーゴ方面の水害に対し、中央日本人会、中央農會、水書義金を贈る。</p> <p>5. ロート・ロサンゼルス日本人漁村で火災発生。捐喜額37,000ドル。日本人会、三新聞社は罹災民救助にのり出す。</p> <p>5. 古西豊龍、羅府に北米方面</p>	<p>3. サンタバーバラ日本人組合教会牧師、神奈川県人に殺される。</p> <p>9. 羅府仏教会紛擾あり。</p> <p>11. 天長節。領事館主催の夜会催される。</p> <p>11. ストーチ博士伝道30年記念祝賀会おこなわれる。師の教えをうけたもの2,000余。勲三等。</p>	<p>4. 夕刊報知新聞発刊。</p> <p>4. 大曾根汝晩著「冢づと」(文林堂)刊。</p> <p>5. 週刊「グラフィック」日本人の正当なる激憤」と題する社論を発表。「米國議会は早く移民案を訂正すべし」。</p> <p>6. 南太平洋鉄道会社日本支店社員の日本人親「日本人は米國を称賛・尊敬している。米國人を友人とみなしている」。</p> <p>7. 北米報知新聞社100号記念活花大会。</p>	<p>3. 法学博士宮川益治ハワイより来羅。ホテルにて客死。</p> <p>3. 三浦環、ボストンオベラ団とともに来羅。日本人学園に20ドル寄付。</p> <p>3. 朝日新聞観光団帰着。</p> <p>7. 東京商船学校練習船大成丸、サンペドロ港に入港。羅府日本人会、及び有志の歓迎を受ける。</p> <p>9. 芳賀矢一来羅。</p> <p>「米國生まれの小児に米國教育を施し、日本語をも教えることが必要。同化せず米國人同様に調和して日本民族の特徴を発揮してこそ海外発展の意</p>	<p>2. アリゾナ州の洋食店でポイコットがあり、羅府領事館に保護の願出あり。</p> <p>7. 加州選出上院議員ジョーンウォークス、太平洋沿岸の防備を説く。</p> <p>8. 白人の日本人に対する暴行絶えず。</p> <p>10. リバサイド市に日本人が続々と来ると地価が下るとして、同市在住の白人の</p>	<p>1. サンデーゴ・オハイ貯水池決壊し、日本人多数溺死。</p> <p>7. 東北飢饉、桜島の噴火に際し、羅府市内有志、演芸会を開き収益金1,177ドルを送金。日本政府より額孟が届く。</p> <p>7. 加州知事の新副知事指名に關し、帝國平原の住民、反対の旨を知事に打電。</p> <p>7. 熊谷三郎、米</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1916 (T.5) 続		<p>社を創設。</p> <p>5. 学生会結成さる。</p> <p>5. セリッグ・ズーにて羅府日本人会主催の大園遊会開かれる。入場者3,000余名。</p> <p>6. 南加中央日本人会臨時代表者会開かる。</p> <p>○中央農会を中央中央日本人会の一部とする。</p> <p>7. 日本人会農業部活動開始。</p> <p>7. 日本会総会開催。</p> <p>7. 太平洋協会誕生(日米親善が目的。思想の交換、国情の研究をおこなう)。</p> <p>7. オクスナード農業組合成立。</p> <p>9. 太平洋協会第一回集會開催。来会者50名。</p> <p>11. サンデーゴ日本会内では今春より感情の衝突があったが、中央日本人会の調停で解決。</p> <p>11. 南加州医会結成。</p> <p>12. 羅府日本人会役員改選で連合派と公正会の対立あり。後者は和歌山県人を中心とする。</p>		<p>7. 羅府エギザミナー紙、日本人排斥の歌を掲載。</p> <p>8. イングルウッド小児園設立さる。</p> <p>11. 大石権一「日米問題実力解決策」。</p>	<p>義がある。</p> <p>11. 日本政府より勲六等、金一封を受ける者あり。</p> <p>→(その他欄より)</p> <p>○国籍の離脱をする者は次</p> <p>の事項をそろえ、在外公館を通して内務大臣に願すべし。</p> <p>1. 戸籍謄本 2. 出生証書</p> <p>3. 出生以来、日本へ行った回数、滞在日数 4. 父母が本人の出生国に居住をはじめた年 5. 法定代理人の同意書(15才未満、捺印者の場合) 6. 本人と同居の親族氏名、続柄 7. 親族会の同意書(必要ならば) 8. 17才以上の場合、陸海軍に服したか否かの証書。</p>	<p>家具店主、日本人名義の宅地没収の訴訟をおこなす。</p> <p>10. ハロウィン祭で日本人、白人悪童の暴行を受ける。</p> <p>7. 長野県人、羅府で無理心中。</p> <p>7. 大正2年の東北の飢饉、桜島の噴火に際し、南加福岡県人会より798円、キリスト女子青年会より602円送金。政府より銀盃を受く。</p> <p>8. 国籍離脱に関する内務省合実施。(往來欄に続く)→</p>	<p>国中央諸州テニス大会で優勝。</p> <p>7. 熊谷一也、ニユーヨークテニス大会にて優勝。</p> <p>7. 長野県人、羅府で無理心中。</p> <p>7. 大正2年の東北の飢饉、桜島の噴火に際し、南加福岡県人会より798円、キリスト女子青年会より602円送金。政府より銀盃を受く。</p> <p>8. 国籍離脱に関する内務省合実施。(往來欄に続く)→</p>
1917 (T.6)	<p>7. 南加大学医科卒業生、医師開業試験に合格。</p> <p>7. 日本人病院設立。南加日本病院と称す。</p> <p>9. 鳥島正義、米国特許弁護士となる。</p> <p>9. 排日の映画に出演したとして非難されている俳優、組合を作って領事、日本人会役員、新聞記者と会談をもつ。</p>	<p>1. 羅府日本人会総会。出席者1,300余。役員改選に不正ありと紛糾。</p> <p>1. 羅府日本人実業組合、日本人商業会議所と改名。</p> <p>1. 羅府日本人会新参事員会を聞く。</p> <p>1. 日本人会不正投票の訴訟をおこなさる。</p> <p>2. 中央日本人会代表者会独立す。</p> <p>2. 羅府美術雜貨商組合成立。</p>	<p>2. 明治神宮奉賛會南加支部は大正5年9月より献金取寄をはじめ、今時点までの献金額 36,919.46ドル、 8,687人の申しこみあり。</p> <p>4. 同上の献金、横浜正金銀行より送金さる。</p> <p>9. 羅府に羅府仏教</p>	<p>2. 毎日曜日にエギザミナー紙はハースト系資本が製作する映画(日米戦争挑発を目的とする)の筋書を掲載。</p> <p>11. 羅府市教育課にて南加大学教授の講演あり。日文関係を論じ、日本を罵倒す。</p> <p>12. 羅府エギザミナー紙、黄禍論を説く。</p>	<p>3. サンビドロ港より南米航路静洋丸、日本にもどる。上等客1, 2等客14, 3等客30余名。</p> <p>5. 日本練習艦隊常艦、八雲、サンビドロに入港。在留同胞の歓迎あり。</p> <p>8. 東京商船学校、練習船大成丸サンデーゴ港に入港。</p> <p>8. 子爵石井菊次郎、桑港に来る。羅府より代表者</p>	<p>4. リバサイド郡で、子供名義で購入した宅地を没収された件につき訴訟あり。</p> <p>4. 羅府で軍事スパイの嫌疑で写真機押収される者あり。</p> <p>4. 第42回加州州会閉会。日本人漁夫の死活にか</p>	<p>3. ガタルービに大火。日本人家屋の焼失13戸、損害 40,000ドル。</p> <p>3. 通信省発表の日米間の郵便為替は次の如し。大正5年 日本より振出 315,583円 北米より振出</p>

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1917 (T. 6) 続	<p>日本人グロッサリー業者組合、相談会を開く。</p> <p>4. 羅府時計商組合結成。</p> <p>7. 太平洋沿岸日本人協会協議会開会。出席日本人は在米日本人会、北米連絡日本人会、カナダ日本人会、ポートランド日本人会、南加中央日本人会。</p> <p>討議内容：定住農業者入国策、日本移民法改正案、移民調査会設置案、原田重吉土地問題、小沢孝雄帰化問題。なお、荻沢来一に感謝と、後援を請う決議文を採択。</p> <p>8. 中央日本人会教育部の主催で、南加州各地学園教師の教育研究会を開催。</p> <p>9. 日本人活動俳優組合結成。</p> <p>理事：早川雪洲。</p> <p>10. 羅府日本人会臨時総会。</p>	<p>会、南加仏教会、中央仏教会の3者があったが、ここに合同入り、中央仏教会合同に反対。前2者のみ合併し、本願寺仏教会と改称。</p> <p>10. 中央仏教会開教師、本願寺より開教師を解職さる。</p> <p>10. 今上天皇第38回御誕辰。各種催しがなされる。</p>	<p>同地に趣く。</p> <p>9. 新市場副社長、帰国のため辞任。</p> <p>10. 代議士政尾藤吉、望月小太郎、島田俊雄、植原悦次郎、山相正次米羅。在留民の歓迎、日本人会役員の案内をうける。</p> <p>11. 日本小学校校長団、東部の視察を終え米羅。</p>	<p>かわる案件は悉く否決された。</p> <p>5. 土地没収に関する再審開廷。</p>	<p>5,820,233円</p> <p>3. ロシア革命。</p> <p>3. 米議会、対独戦争について可否の討論。</p> <p>4. ウイリソン大統領対独宣言布告。</p> <p>4. 米独宣言布告とともに排日運動やわらぐ。</p> <p>4. 米独宣言布告後、米國赤十字社羅府支部に入会した日本人1,250名。外国人としての加入者第1位。</p> <p>5. 浪花節の興業大成功。</p> <p>6. 米國対独戦費のため、自由公債発行。これに応募する日本人多し。</p> <p>8. 米独戦争状態につき6月より壮丁登録開始。徴兵に応ずる日本人あり。日本人とイタリヤ人は徴兵免除。</p> <p>11. 戦時税徴収開始。</p> <p>11. 対支日米協約発表。</p>		

年次	労働・職業	組織	宗教	教育・出版	往来	排日	その他
1918 (T. 7)	<p>3. 岡山県人、サンビドロに白點温泉を開く。</p> <p>4. ターミナル野菜市场、第7街方面に移転し営業開始。</p> <p>7. サンビドロの日本人漁夫とカンヅメ業者との争い、米国海軍武官の調停により解決。</p> <p>8. 羅府に日本葬儀社設立される。</p>	<p>1. 羅府日本人会定期総会。出席者354名。規則第8条を改正。</p> <p>1. 同上役員改選は無事終了。</p> <p>1. 明治神宮奉賛会総寄付金のうち在米関係者分は次のとおり。ハワイ：7万2,000円、桑港方面：8万余、南加方面：7万3,820円。</p> <p>2. 中央日本人会代表者会開催中一悶着あり。</p> <p>4. 日本政府が白米の輸出を禁止。領事館および日本人会は禁止解除の電話をする。</p> <p>4. 日加農業組合と南加農業組合の幹部、南加日本人農業組合事務所で会合し、過去11年の争いに終止符をうち、同胞農家の福利増進のため結束することを申し合す。</p> <p>8. 羅府日本人会、南加州在留日本人人口調査をする。総人口115,320名。県別：1位 広島2,943.2位和歌山2,190.3位熊本965。</p>		<p>3. 羅府エギザミナー紙、日本批判の記事を掲載。</p> <p>3. 羅府タイムス紙、日本をして西比利亜を護らしめよとして日本のシベリア出兵を支持。</p>	<p>4. 帝国練習艦隊 誓手、浅間、サンビドロ港に来。各団体が志大歓迎。歓迎費収入3,529ドル、支出3,981ドル、不足額452ドルは日本人会が負担。</p> <p>8. 永井柳太郎来羅。「余は日本人たるを光栄とす」と題し講演。</p> <p>12. 東伏見宮依仁親王、来羅。車中にて、中央日本人会、羅府日本人会、朝日新聞、羅府新報、日米新聞社の幹部に引見。中央日本人会、羅府日本人会に各100ドルの下賜金あり。</p>	<p>6. 泉田準城の立退き問題、法廷で敗訴。</p> <p>9. 原田重吉土地所有訴訟、原田に有利な判決。</p>	<p>1. 婦人参政権案 米国下院通過。</p> <p>2. 広島県人山中忠雄、西部戦線従軍中、墜落死。</p> <p>2. 南加元老にして帰化市民権を有す金子貞成死去。</p> <p>3. 全米に酒場の閉鎖命令出さる。</p> <p>6. 大戦以来、金融関係は不安定。100円 = 52.75ドル。</p> <p>8. 外国人取締令 米国議会通过。</p> <p>9. 泉田準城、朝日新聞との裁判に勝訴。</p> <p>10. スペイン風邪大流行。公開集会の禁止。南加慈恵会が中心となって、第6街果物野菜市場建物内に仮の取容病院をつくる。</p> <p>11. 連合国側とドイツとの間に休戦条約調印。</p>